

令和4年度

# 事業年報

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

# 赤十字基本原則

(1965年ウィーンで開催された第20回国際会議議決)

**人道** 赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間の尊重を確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

**公平** 赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位、又は政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦をまっさきに取扱う。

**中立** すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時にずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教的又は思想的性格の紛争には参加しない。

**独立** 赤十字は独立である。各国赤十字は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律には従うが、常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

**奉仕** 赤十字は利益を求めない奉仕的救護組織である。

**単一** いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

**世界性** 赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

## ご あ い さ つ

皆様には、日頃から赤十字事業にご理解をいただき、支部事業の推進にお力添えを賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

日本赤十字社は、192の国や地域に広がる国際赤十字の一員として、世界中で絶え間なく起こる災害や紛争の被災者への救援活動、疾病や感染症などの健康問題に苦しむ人々のための保健衛生事業等を各国の赤十字社と連携して展開しています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応において、日本赤十字社では、発生当初から全国の赤十字病院において感染者の受入れや治療を行っています。

国内におきましては、昨年8月3日からの大雨により東北・北陸地方を中心に住家被害が、また令和4年台風第15号により静岡県に甚大な被害が発生するなど、各地で多くの方々被災され、尊い人命が失われました。日本赤十字社では、全国の支部等の連携のもと、救援物資の輸送・配分、医療救護班やこころのケア班の派遣とともに、義援金募集を行いました。

県内におきましても、昨年7月に桜島の噴火警戒レベルが5に引き上げられ、一部地域の住民が避難されたほか、昨年9月に襲来した台風第14号により大隅半島を中心に住家被害等が発生したところであり、県支部では、万が一の場合の災害救護活動等が速やかに実施できるように警戒態勢を取るなどの対応を行ったところです。

いつどこで大きな災害が発生するかわからない昨今、県支部では、迅速かつ機動的に対応できるよう災害救護体制の強化に努め、併せて県民の皆様に対する「防災・減災教育」の活動を更に充実させていきたいと考えております。

病院事業については、公的医療機関として地域医療の充実に貢献するため、災害時の医療救護、離島・へき地医療への取組はもとより、各診療科領域において特色ある専門的かつ高度な医療の提供に取り組み、その使命と役割を果たしてきました。

血液事業については、採血・供給業務を受け持つ地域血液センターとして、少子高齢社会に対応した献血者の安定的な確保と、安全な輸血用血液の安定供給に努めました。

社会福祉事業については、全室個室のユニット型特別養護老人ホームとして、質の高いサービスを提供するとともに、入居者の安全対策・環境整備や地域との連携に努めました。

これらの事業をはじめ、令和4年度の各種支部事業については、長期化するコロナ禍の中でオンライン形式や研修プログラムの変更、感染防止対策の徹底などにより展開することができました。これもひとえに、皆様方の赤十字事業へのご理解とご支援の賜物と心からお礼申し上げます。

なお、赤十字の活動を支える財政的基盤である社資の募集は、地区・分区等におきまして町内会・自治会、赤十字奉仕団、赤十字有功会等のご協力を得ながら行っておりますが、年々厳しさが増す中、さらに赤十字の活動をご理解いただけるよう積極的な啓発と広報に努めるとともに、県民の皆様の期待に応えられるような活動の充実を図ってまいりたいと考えております。

ここに令和4年度の事業実施状況を報告いたしますので、ご高覧のうえ、今後とも県民の皆様のお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年6月

日本赤十字社鹿児島県支部  
支部長 塩田 康一

## 目 次

1	災害救護	1
	(1) 常備救護班の編成状況	
	(2) 災害救護活動	
	(3) 災害救護訓練等の実施	
	(4) 救援物資の備蓄・配分	
	(5) 救護資機材の整備	
	(6) 赤十字救護連絡所の医薬品等補充	
	(7) 救急用担架の配備	
	(8) 洋上での遭難者に対する救援	
	(9) 臨時救護	
	(10) 防災講話、非常時の炊き出し訓練等の実施	
	(11) 赤十字防災セミナーの実施	
	(12) 死亡弔慰金の支給	
	(13) 義援金の取扱い状況	
2	看護師の養成	17
3	救急法等の講習	18
	(1) 救急法	
	(2) 水上安全法	
	(3) 健康生活支援講習	
	(4) 幼児安全法	
	(5) 救急法等指導員の在籍状況	
4	赤十字奉仕団の活動	23
	(1) 赤十字奉仕団組織図	
	(2) 赤十字奉仕団及び奉仕団員数	
	(3) 地域赤十字奉仕団結成状況	
	(4) 総会及び研修会等開催状況	
	(5) 地域赤十字奉仕団研修会開催状況	
	(6) 地域高齢者生活支援事業の実施	
	(7) 赤十字奉仕団登録一覧表	
5	青少年赤十字の活動	27
	(1) 校種別加盟状況	
	(2) 加盟校の推移	
	(3) 会議等の参加及び開催	
	(4) 研修活動	
	(5) 高校協議会の活動	
	(6) 青少年赤十字創設 100 周年記念・県支部創立 130 周年記念事業	
	(7) 機関紙の発行	

(8)	その他の青少年赤十字活動	
(9)	校種別加盟校名簿	
6	国際活動	35
(1)	「NHK海外たすけあい」寄付金募集	
(2)	海外救援金の取扱い状況（鹿児島県支部受付分）	
(3)	その他	
7	広報活動	37
(1)	5月の会員増強運動月間広報	
(2)	各種イベント等の活用による広報	
(3)	見学誘致による広報	
(4)	刊行物による広報	
(5)	各報道機関等による広報	
(6)	SDGsへの取り組み	
8	赤十字大会	41
(1)	全国赤十字大会	
(2)	九州八県赤十字大会	
(3)	鹿児島県赤十字有功会総会	
9	会員増強運動	42
(1)	令和4年度会費募集状況及び過去5カ年間の推移	
(2)	令和4年度地区・分區別社資納入状況一覧表（対社資目標額比較）	
(3)	令和4年度地区・分區別社資納入状況一覧表（対前年度比較）	
(4)	令和4年度地区・分區別会員募集実績前年対比一覧表	
(5)	令和4年度赤十字会員増強運動功労表彰	
(6)	過去5カ年間の種別会員数の推移	
(7)	令和4年度一般社資金額別内訳一覧表	
(8)	令和4年度法人社資金額別内訳一覧表	
(9)	日本赤十字社有功章等表彰受彰（章）者（社）名簿	
10	医療事業	51
(1)	一般医療	
(2)	医療救護活動	
(3)	へき地医療	
(4)	保健衛生事業	
(5)	相談援助・地域連携	
11	血液事業	56
(1)	供給・採血実績	
(2)	供給体制	
(3)	医薬情報活動	

- (4) 鹿児島県合同輸血療法委員会への協力
- (5) 献血推進
- (6) 献血予約の推進と協力要請
- (7) 骨髄バンク事業
- (8) 献血功労者表彰

1 2 社会福祉事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 2

- (1) 指定介護老人福祉施設事業
  - (2) 短期入所生活介護事業
  - (3) 入居者へ質の高いサービスの提供
  - (4) 入居者の安全対策・環境整備
  - (5) ボランティアの受入れと地域との連携
  - (6) 実習生の受入れ
  - (7) 地域貢献活動について
  - (8) 広報活動について
  - (9) その他
- (参考) 令和4年度における入居者の状況

1 3 評議員会及び監査等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 9

- (1) 支部評議員会
- (2) 業務監査
- (3) 地区・分区関係各種会議等

1 4 決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 1

- (1) 令和4年度一般会計歳入歳出決算書
- (2) 令和4年度医療施設特別会計歳入歳出決算書
- (3) 令和4年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 4

- 本社及び支部組織図等
- 日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿
- 日本赤十字社鹿児島県支部評議員名簿
- 日本赤十字社現勢
- 支部の現勢
- 支部の沿革

# 1 災 害 救 護

災害救護は、日本赤十字社の行う最も重要な事業の一つであり、常備救護班8班を編成し、各種救護訓練等の実施や、災害救護資機材の整備等に努めた。

## (1) 常備救護班の編成状況

	医 師 <sup>(人)</sup>	看護師長 <sup>(人)</sup>	看 護 師 <sup>(人)</sup>	主 事 <sup>(人)</sup>	計 <sup>(人)</sup>
1 個 班 の 編 成	1	1	2	2	6
常 備 要 員 数	8	8	16	16	48

## (2) 災害救護活動

鹿児島県内では、7月に桜島の噴火警戒レベルが5に引き上げられる噴火や、9月5日の台風11号の接近、及び9月17日から19日にかけて台風14号が上陸、通過などの自然事象があり、医療救護班の派遣や大量の救援物資を配分するまでに至るような被害は発生しなかったが、支部災害対策本部要員が赤十字会館へ参集するとともに、県庁に連絡調整員を1名派遣して情報収集するなど有事に備えた。



## (3) 災害救護訓練等の実施

### ア 日本赤十字社九州八県支部合同災害救護訓練

「九州北部に停滞した秋雨前線の影響で筑豊地方及び筑後地方で猛烈な雨が降り、河川の氾濫や大規模な土砂崩れが起こった」という想定で、11月3日（木）～4日（金）にかけて日赤福岡県支部及び久留米赤十字会館で実施された合同訓練に参加した。

・参加者	<u>日赤鹿児島県支部</u>	3人
	計	3人

### イ 鹿児島県支部災害対策本部立上訓練

3月17日（金）に、日赤鹿児島県支部事務局内において支部災害対策本部立ち上げ時のマニュアルの検証を目的とした訓練を実施した。

ウ 各機関が実施する防災訓練への参加

(7) 鹿児島県総合防災訓練

「東海、東南海、南海及び日向灘を震源とするM9.1の巨大地震が発生し、地震及び津波被害により要救出現場や多数の負傷者が発生している」という想定で、11月4日（金）～5日（土）に鹿児島県主催により志布志市、大崎町、東串良町で実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	6人
	鹿児島赤十字病院	6人
	計	12人

(4) 多数傷病者事故対応訓練

「鹿児島市の白波スタジアムでサッカーの試合開催中に観客の一部がドミノ倒し状態で倒れ込み負傷者が多数発生した」という想定で、9月9日（金）に鹿児島市消防局主催により実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	3人
	鹿児島赤十字病院	5人
	計	8人

(9) 鹿児島空港航空機事故対処総合訓練

「霧島上空でエンジンの爆発音があり緊急着陸した航空機が制限区域フェンスに接触後、火災が発生し、機内に多数の負傷者が取り残されている」という想定で、10月27日（木）に鹿児島空港緊急計画連絡協議会の主催により実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	3人
	鹿児島赤十字病院	6人
	計	9人

(エ) 桜島火山爆発総合防災訓練（図上訓練）

「桜島の大規模爆発に対し、住民避難等の各種の災害応急対策が迅速・的確に行われるよう、関係機関の認識の共有、各機関の役割・能力の確認及び相互の連携強化など災害対応能力の向上を図る」ことを目的に、9月27日（火）に鹿児島県主催により実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	2人
	計	2人

(オ) 第53回桜島火山爆発総合防災訓練（住民避難訓練）

「桜島の火山活動が活発化し、噴火警戒レベルが引き上げられ、桜島住民の避難が始まった」との想定で、11月19日（土）に鹿児島市主催により実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	3人
	鹿児島赤十字病院	5人
	<u>特別養護老人ホーム錦江園</u>	<u>1人</u>
	計	9人

(カ) 第53回桜島火山爆発総合防災訓練（避難所体験・展示訓練）

「大規模噴火に備えた避難行動を学び、防災意識を次世代につなげる」をコンセプトに、1月7日（土）に鹿児島市主催により実施された訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	4人
	日赤鹿児島市地区	1人
	赤十字アマチュア無線奉仕団	7人
	<u>鹿児島中央赤十字奉仕団</u>	<u>20人</u>
	計	32人



活動内容を説明する奉仕団員



会場の消毒を行う奉仕団員

(キ) 鹿児島県原子力防災訓練

2月11日（土）に鹿児島県主催で実施された避難退域時の検査訓練に参加した。

・参加者	日赤鹿児島県支部	1人
	<u>鹿児島赤十字病院</u>	<u>5人</u>
	計	6人

エ 救護員研修

(ア) 鹿児島県支部救護員基礎研修

多様な災害に対応できるよう、災害時の役割を認識し、新たな救護体制を再構築するとともに、救護員の量的確保並びに質的向上を図ることを目的に、eラーニング（パソコン等を使用した学習形態）と参集（1日）のカリキュラムで、鹿児島県支部管内職員を対象とした基礎研修と、既受講者を対象に近年の災害救護活動や日

赤の救護体制について理解を深めるためのフォローアップ研修を実施した。

- ・開催日時 12月3日(土) 8時30分～16時15分
- ・開催場所 県赤十字会館
- ・参加者 基礎研修：15人 フォローアップ研修：6人

(イ) こころのケア研修会

災害発生時に、従来の救護活動に加えて被災者に対するこころのケアの実施方法と、救護員自身のこころのケアに関する対処方法を習得することを目的として実施した。

- ・開催日時 8月19日(金) 9時～17時
- ・開催場所 鹿児島赤十字病院
- ・参加者 13名

(ウ) 日赤災害医療コーディネーター研修会

日本赤十字社災害医療コーディネーターチームの活動能力向上及び活動に対する考え方の共通認識を図ることを目的に、日赤本社の主催により実施された研修会に参加した。

- ・開催日時 1月21日(土) 9時30分～1月22日(日) 16時
- ・開催場所 日本赤十字社本社
- ・参加者 1名

(エ) 鹿児島県ローカルDMAT研修

県内で発生した災害時の医療救護活動を行う医療従事者を養成する研修に参加した。

- ・開催日時 1月14日(土) 8時30分～1月15日(日) 13時
- ・開催場所 鹿児島市立病院
- ・参加者 2人

#### (4) 救援物資の備蓄・配分

支部倉庫及び県内36の地区・分区等に救援物資を備蓄し、災害発生時の被災者への迅速な配分に備えている。

##### ア 救援物資の備蓄状況

令和5年3月31日現在

品名 備蓄先	毛布 (枚)	緊急セット (セット)	タオルケット (枚)	見舞品セット (セット)※	ブルーシート (枚)
支部倉庫	1,677	542	2,236	0	2,171
36常備地区	1,884	900	1,185	426	1,077
計	3,561	1,442	3,421	426	3,248

※「見舞品セット」は、製作を中止し補充無し。

##### イ 救援物資配分基準

品名	災害区分	
	全焼・半焼・全壊・半壊・流失・床上浸水	
毛布	被災者1人につき	1枚
緊急セット (タオル・携帯ラジオ・懐中電灯・風呂敷等)	被災世帯1世帯につき	1セット
タオルケット	被災者1人につき	1枚
ブルーシート	被災世帯1世帯につき	1枚

(注) ・世帯標準構成員は4人を想定。(死亡者は世帯構成員に加えない)



毛布



緊急セット



タオルケット



ブルーシート

ウ 救援物資常備地区及び配分区域

令和5年3月31日現在

常備地区	配分区域	常備地区	配分区域
鹿児島市(市)	鹿児島市	南九州市(社)	南九州市
鹿屋市(社)	鹿屋市	伊佐市(社)	伊佐市
枕崎市(社)	枕崎市	姶良市(社)	姶良市
阿久根市(社)	阿久根市、長島町	さつま町(社)	さつま町
出水市(社)	出水市	湧水町(社)	湧水町
指宿市(社)	指宿市	大隅(地)	東串良町、錦江町 南大隅町、肝付町、大崎町
西之表市(社)	西之表市	熊毛(支)	中種子町、南種子町
垂水市(社)	垂水市	大島(支)	大和村、宇検村、龍郷町
薩摩川内市(社)	薩摩川内市 (上甕町、下甕町以外)	瀬戸内町(社)	瀬戸内町
薩摩川内市(社) 甕島	薩摩川内市上甕町	喜界町(社)	喜界町
薩摩川内市(社) 甕島(下甕駐在)	薩摩川内市下甕町	徳之島町(社)	徳之島町
日置市(社)	日置市	天城町(社)	天城町
曾於市(社)	曾於市	伊仙町(社)	伊仙町
霧島市(社) 本所	【国分市、隼人町、福山町、溝辺町】	和泊町(社)	和泊町
霧島市(社) 牧園支所	【牧園町、横川町、霧島町】	知名町(社)	知名町
いちき串木野市(社)	いちき串木野市	与論町(社)	与論町
南さつま市(社)	南さつま市	屋久島事務所(支)	屋久島町
志布志市(社)	志布志市	支部直送	三島村
奄美市(社)	奄美市		十島村

(社) 社会福祉協議会・(地) 地域振興局・(支) 支庁

エ 支部及び常備地区における救援物資の備蓄状況

令和5年3月31日現在

	本社毛布					本社緊急セット					支部見舞品セット					(支部・本社)タオルケット					支部ブルーシート				
	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数	繰越	補充 戻入	破損 消却	配分 分置	残数
支 部	1,733	0	0	56	1,677	578	0	0	36	542	0	0	0	0	0	2,266	0	0	30	2,236	1,096	1,100	0	25	2,171

※配分分置の数字は、支部から直接、被災者へ配分したものと、常備地区への分置の合計。

常備地区名	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数	繰越	受入	返却	配分	残数
鹿児島市	79	0	0	21	58	54	0	0	10	44	27	0	0	4	23	86	0	0	10	76	56	0	0	9	47
鹿屋市	31	17	0	11	37	19	6	0	8	17	0	0	0	0	0	35	10	8	11	26	17	5	0	8	14
枕崎市	20	0	0	0	20	14	0	0	0	14	15	0	0	0	15	20	0	0	0	20	42	0	0	0	42
阿久根市	20	0	0	0	20	11	0	0	0	11	3	0	0	0	3	25	0	0	0	25	15	0	0	0	15
出水市	57	0	0	1	56	23	0	0	1	22	29	0	0	1	28	11	0	0	1	10	14	0	0	1	13
指宿市	37	0	0	3	34	22	0	0	1	21	4	0	0	0	4	38	0	0	1	37	16	0	0	1	15
西之表市	37	0	0	2	35	7	0	0	1	6	4	0	0	1	3	37	0	0	2	35	24	0	0	1	23
垂水市	41	0	0	2	39	30	0	0	1	29	20	0	0	1	19	18	0	0	2	16	21	0	0	1	20
薩摩川内市	90	0	0	8	82	44	0	0	4	40	10	0	2	1	7	73	0	0	8	65	67	0	0	4	63
薩摩川内市(上瓶)	20	0	0	0	20	16	0	0	0	16	0	0	0	0	0	19	0	0	0	19	34	0	0	0	34
薩摩川内市(下瓶)	6	0	0	0	6	17	0	0	0	17	11	0	0	0	11	21	0	0	0	21	23	0	0	0	23
日置市	22	0	0	1	21	19	0	0	1	18	8	0	0	0	8	25	0	0	1	24	19	0	0	1	18
曾於市	52	0	0	3	49	46	0	0	2	44	27	0	0	1	26	51	0	0	3	48	36	0	0	2	34
霧島市(国分)	22	20	0	10	32	33	0	0	6	27	18	0	0	0	18	41	0	0	10	31	37	0	0	6	31
霧島市(牧園)	17	0	0	2	15	11	0	0	1	10	4	0	0	0	4	17	0	0	0	17	12	0	0	1	11
いちき串木野市	25	0	0	2	23	26	0	0	1	25	13	0	0	1	12	27	0	0	2	25	25	0	0	1	24
南さつま市	66	0	0	0	66	43	0	0	0	43	43	0	0	0	43	32	0	0	0	32	46	0	0	0	46
志布志市	20	10	0	6	24	14	6	0	3	17	0	0	0	0	0	16	10	0	6	20	14	5	0	1	18
奄美市	57	0	1	0	56	60	0	0	0	60	38	0	16	0	22	127	0	0	0	127	132	0	0	0	132
南九州市	7	0	0	4	3	4	0	0	3	1	7	0	0	3	4	11	0	0	4	7	8	0	0	3	5
伊佐市	51	0	0	8	43	35	0	0	4	31	1	0	0	1	0	49	0	0	8	41	31	0	0	4	27
さつま町	9	10	0	3	16	7	6	0	2	11	4	0	0	2	2	6	10	0	3	13	7	5	0	2	10
湧水町	17	0	0	0	17	17	0	0	0	17	0	0	0	0	0	16	0	0	0	16	16	0	0	0	16
始良市	53	0	0	6	47	6	18	0	4	20	2	0	0	0	2	50	0	0	6	44	20	10	0	4	26
大隅地区	93	0	0	10	83	70	0	0	6	64	64	0	0	4	60	72	0	0	10	62	68	0	0	6	62
熊毛地区	107	0	0	0	107	32	0	0	0	32	26	0	0	0	26	39	0	0	0	39	28	0	0	0	28
大島地区	565	0	0	0	565	56	0	0	0	56	36	0	0	0	36	76	0	0	0	76	103	0	10	0	93
瀬戸内町	53	0	0	2	51	25	0	0	1	24	0	0	0	0	0	46	0	0	2	44	28	0	0	1	27
喜界町	17	0	0	0	17	10	0	0	0	10	0	0	0	0	0	14	0	0	0	14	11	0	0	0	11
徳之島町	53	0	0	3	50	26	0	0	1	25	0	0	0	0	0	33	0	0	3	30	29	0	0	1	28
天城町	45	0	0	5	40	35	0	0	4	31	3	0	0	1	2	33	0	0	5	28	31	0	0	4	27
伊仙町	12	0	0	0	12	11	0	0	0	11	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10	23	0	0	0	23
和泊町	18	0	0	0	18	19	0	0	0	19	7	0	0	0	7	20	0	0	0	20	15	0	0	0	15
知名町	32	0	0	0	32	18	0	0	0	18	15	0	0	0	15	19	0	0	0	19	17	0	0	0	17
与論町	27	0	0	0	27	26	0	0	0	26	10	0	0	0	10	15	0	0	0	15	20	0	0	0	20
屋久島事務所	65	0	0	2	63	24	0	0	1	23	17	0	0	1	16	35	0	0	2	33	20	0	0	1	19
常備地区計	1,943	57	1	115	1,884	930	36	0	66	900	466	0	18	22	426	1,263	30	8	100	1,185	1,125	25	10	63	1,077

※返却の数字は、破損等による支部への返却数であり、支部の補充戻入に反映される。

※常備地区間の補充も受入・配分数に計上している。

## (5) 救護資機材の整備

災害発生時に円滑な救護活動が行えるよう、次の救護資機材を整備・更新した。

ア 県支部における救護資機材の整備

(ア) 救護員等用ヘルメットの更新 20個

(イ) 救護所等屋外で電源を確保するための防雨型コードリールの整備 5台

イ 地区・分区における救護資機材の整備

救援物資輸送などの災害救援活動及び日常の情報収集活動等に不可欠な救援車を整備するため、1地区に60万円の補助金を交付した。

(交付先)

地区・分区名	交付額 (円)
指宿市地区	600,000
計	600,000

ウ 支部における救護資機材の整備状況

令和5年3月31日現在

救護資機材の名称	整備状況	救護資機材の名称	整備状況
超短波無線電話 全県移動システム	1式	浄水機	1
無線装備 (150MHz帯)	基地局(固定局)2 移動局 55	発電機	7
無線装備 (400MHz帯)	基地局 1 移動局 20	投光機	8
無線装置 (二重免許)	携帯基地局 2 携帯局 2	炊き出し用釜セット	6
携帯電話	8	医療セット	3
衛星電話	可搬型 2 車載型 1	携帯型医療セット	1
通信機器 (パソコン、スマートフォン、 iPad、モバイルプリンター)	各 1	マジックギブス	3
ポータブル電源 (ソーラーパネル含む)	1式	アンビューバッグ	3
トランシーバー	10	血圧計	8
カーナビゲーション	9	点滴台	10
救急車	支部 1 病院 1	寝袋	30
災害救援車	3	寝袋用マット	10
災害連絡車	4	折畳式リヤカー	4
通信指令車	1	折畳式自転車	2
患者用エアートtent	1	医療セット置き台	2
診療用エアートtent	1	輸液ポンプ	10
フレーム式拡張tent	3	簡易型心電図モニター	1
災害用tent	3	携帯型除細動器	1
担架	37	ポータブル人工呼吸器	1
担架架台	10	GPS 機能付車載無線機	1

市町村	旧市町村	自動車		天幕		プレハブ(物資)倉庫 〔大〕		炊出し用 釜セット		災害物資 保管庫 〔小〕		サーチライト			
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	自動車用		公民館用	
												数量	整備年度	数量	整備年度
鹿児島市	鹿児島市	1	H20	5	51・54 56・60・H5							1	H1	44	H2
	谷山地域			2	52・63									16	H2
	吉田町			2	56・H4									5	H2
	桜島町			3	51・62・H13			1	H12	1	H2	1	H1	3	H2
	喜入町									1	H2			7	H2
	松元町														
	郡山町			1	H1									6	H2
鹿屋市	鹿屋市			2	61・H5									30	H2
	輝北町			2	56・H4			1	H13	1	62	1	H1	6	H4
	串良町			2	51・62			1	H12	1	62	1	H3	7	H4
	吾平町			2	H4・H13					1	63	1	H1	5	H4
枕崎市			1	R1	1	H13	1	58	1	H13					
阿久根市			1	H19					1	H13					
出水市	出水市	1	H28	1	H13							1	H1	2	H2
	野田町														
	高尾野町											1	H3	3	H3
指宿市	指宿市	2	H16・R4			1	H26							1	H2
	山川町	1	H30					1	H15	1	63			1	H2
	開聞町	1	H15							1	63			1	H2
西之表市			1	H15					1	H13	1	H2	1	H1	
垂水市					1	H13			1	H14	1	H2		6	H2
薩摩川内市	川内市			3	51・61・H13	1	H5	1	H15			1	H1	20	H2
	樋脇町			2	56・H4									6	H3
	入来町	1	H19	2	56・H2			1	H2	1	H12	1	H1	9	H3
	東郷町	1	H1	2	56・H5			1	H15	1	63	1	H1	6	H3
	祁答院町	1	H23	2	59・H5			1	H15	1	62			6	H3
	里村	1	H11	2	55・H3					1	63			6	H3
	上甕村	2	H14・H22	1	H3	1	R2	1	H16					8	H3
	下甕村	1	H29	2	52・H1			1	H14	1	H11			2	H3
	鹿島村	H29.4下甕と合併									1	63			
日置市	東市来町	1	H28	2	54・H1			1	H15	1	63			8	H3
	伊集院町	1	R2	3	53・H1			1	H13	1	H10			5	H3
	日吉町	1	H26					1	H16					7	H3
	吹上町	1	H25					1	H12	1	H2				
曾於市	大隅町	1	H24	2	H1・H9			1	H13	1	63	1	H1	8	H4
	財部町	1	H14	2	55・H2					1	62			5	H4
	末吉町	1	H28	1	H1			1	H14	1	63	1	H1	14	H4
霧島市	国分市	1	H23					1	H16						
	溝辺町			2	54・H2					1	H2				
	横川町			1	H4			1	H16						
	牧園町			2	H2・H13	1	R3	1	H12	1	H1				
	霧島町							1	H13	1	63				
	隼人町			1	54			1	H16	1	H2				
いちき串木野市	福山町	1	H16	1	H4					1	63				
	串木野市	1	R3	2	61・H5			1	H14	1	H2				
南さつま市	市来町	1	H10	2	56・H4			1	H15	1	H11				
	加世田市			1	H5	1	H24	1	H12	1	H2			1	H2
	笠沙町			1	H4			1	H14	1	62	1	H1	5	H2
	大浦町			1	H1			1	H14	1	62	1	H3	1	H2
	坊津町			2	56・H5			1	H15	1	62				
金峰町							1	H13							

市町村	旧市町村	自動車		天幕		プレハブ(物資)倉庫〔大〕		炊出し用釜セット		災害物資保管庫〔小〕		サーチライト				
		数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	数量	整備年度	自動車用		公民館用		
												数量	整備年度	数量	整備年度	
志布志市	松山町			1	H5			1	H13	1	H2			4	H4	
	志布志町	1	H18					1	H15	1	62			3	H4	
	有明町	1	H25					1	H12	1	62			1	H4	
奄美市	名瀬市			1	63	1	H25	1	H15							
	住用村									1	H1					
	笠利町			2	54・H2			1	H16	1	H1					
南九州市	穎娃町	1	H19	2	53・H1			1	H21	1	62			7	H2	
	知覧町	1	H12	2	54・H2			1	H12	1	H25	1	H3	8	H2	
	川辺町	1	H12	2	53・H1	1	H12			1	62			8	H2	
伊佐市	大口市	1	H18	3	51・62・H13	1	60	1	H15	1	H2	1	H1	19	H2	
	菱刈町	1	H30	2	55・H2	1	H29			1	H2	1	H3	6	H4	
始良市	加治木町			2	54・H1			1	H16	1	H2					
	始良町	1	H16	2	53・H1			1	H18	1	63					
	蒲生町	1	H18	1	H2			1	H13	1	63					
三島村		1	H3	2	56・H5							1	H3	5	H2	
十島村				2	56・H5									8	H2	
さつま町	宮之城町	1	H15	1	H5	1	H7									
	鶴田町	1	H12	2	53・H1			1	H14	1	63					
	薩摩町	1	H11	1	H4	1	H10	1	H13							
長島町	東町	1	H1	2	54・61					1	61	1	H3	11	H3	
	長島町	1	H24	2	H1・H13			1	H12	1	61	1	H1	5	H3	
湧水町	栗野町			2	55・H3	2	H10・R3	1	H14	1	63					
	吉松町	2	H13・H22	1	H4			1	H14	1	63	1	H1			
大崎町			1	H16	2	55・H2			1	H14	1	62	1	H1	1	H4
東串良町				2	55・H2					1	62	1	H1	3	H4	
錦江町	大根占町	1	H14	2	63・H13			1	H16	1	62			9	H4	
	田代町			2	56・H5			1	H15	1	61	1	H1	4	H4	
南大隅町	根占町	1	H12	2	55・H3			1	H14	1	61			17	H4	
	佐多町			2	56・H5			1	H13	1	61					
肝付町	内之浦町			2	54・H2			1	H15	1	61					
	高山町	2	H20・H27	2	61・H5			1	H16	1	63					
中種子町										1	62					
南種子町				1	H1			1	H16	1	61	1	H1			
屋久島町	上屋久町			1	H5			2	H12	1	62					
	屋久町	1	H28					1	H16	1	63	1	H1			
大和村				2	61・H5			1	H12					7	H4	
宇検村			1	H26	2	55・H3			1	H16	1	62			6	H4
瀬戸内町			1	R3	2	53・H1			1	H14	1	62			21	H4
龍郷町			2	H11・H23	1	H3	1	H25	1	H15				8	H4	
喜界町			1	R1	1	H1			1	H16	1	62			10	H4
徳之島町			2	H21・R2	2	61・H5	1	H10	1	H15	1	62	1	H1		
天城町			1	H27	1	H3			1	H15	1	62				
伊仙町			1	H27	2	55・H3			1	H14	1	62			9	H4
和泊町			1	H29	1	H4			1	H14	1	62	1	H3	5	H4
知名町			1	H29	1	H2			1	H14	1	62			6	H4
与論町			1	H30	2	61・H5			1	H16	1	62	1	H3	4	H4
鹿児島																
北薩															1	H3
始良・伊佐				2	54・H2	1	H11					1	H1	1	H4	
大隅				3	53・H1	1	H6					1	H1			
熊毛				1	H3									1	H4	
大島				1	62	1	R1							1	H4	
屋久島事務所						1	56									
計		62		143		20		73		71		32		459		

※整備年度欄の「H」は平成、「R」は令和、数字のみの記載は昭和

## (6) 赤十字救護連絡所の医薬品等補充

自然公園財団高千穂河原支部(2カ所)に赤十字救護連絡所を設置し、負傷者の手当及び関係機関への通報をお願いしている。

## (7) 救急用担架の配備

不特定多数の人が集合、通過する場所で急病人やけが人が発生した場合、誰でも自由に使用できるよう下記の場所に救急用担架を配備している。

### ○駅

鹿児島中央、鹿児島、出水、指宿、隼人、吉松

### ○港

鹿児島港、鹿児島新港、西之表港、名瀬港、亀徳港、和泊港、宮之浦港、垂水港、鴨池港、桜島港

### ○公園等

吉野公園、平川動物公園、自然公園財団高千穂河原支部、輝北うわば公園

### ○体育館

指宿市、枕崎市、南さつま市、出水市、伊佐市、霧島市(国分、隼人)、垂水市、曾於市

### ○運動場

県立野球場、県立陸上競技場、県立体育館

### ○神社

霧島神宮、新田神社、護国神社

## (8) 洋上での遭難者に対する救援

洋上での遭難者等に配分することを目的として、第十管区海上保安本部所属の巡視船に分置している救援物資の補充を行った。

海難救援物資の第十管区海上保安本部巡視船備付 令和5年3月31日現在

品名	前年度繰越	補充数	配分・消却数	翌年度へ繰越
毛布	138	6	4	140
作業服(上下)	上 138 下 138	上 2 下 2	上 5 下 5	上 135 下 135
肌着	138	2	3	137
日用品	138	2	6	134
スリッパ	138	2	4	136

※前年度繰越は、船舶及び十管本部在庫分の合計

## (9) 臨時救護

公的機関・団体が開催する大会、祭典、行事等に救護員や看護師を派遣した。

実施日	行事名	派遣者
8月20日	第20回かごしま錦江湾サマーナイト花火大会	医師1人、看護師3人、 主事2人、支部4人、 ボランティア6人
10月9日	鹿児島市視覚障害者協会1日レクリエーション	看護師1人
10月17日	鹿児島県民のつどいコンサート	看護師1人
10月25日	鹿児島県戦没者追悼式	看護師2人
10月28日	鹿児島県地域福祉推進大会	看護師1人
11月1日	ふるさとを興す県地域女性連研究大会	看護師1人
11月15日	第42回交通安全母の会鹿児島県大会	看護師1人
3月5日	かごしまマラソン2023	医師1人、看護師3人、 支部1人

## (10) 防災講話、非常時の炊き出し訓練等の実施

学校、町内会等からの要請を受け職員や奉仕団員を派遣し、防災・減災に関する講話や炊飯袋を使った炊き出し訓練等を実施した。

	実施日	実施団体	受講者 (人)	実施内容
1	7月27日	鹿屋市社会福祉協議会	25	防災講話、炊き出し、救急法
2	7月28日	鹿屋市社会福祉協議会	25	防災講話、炊き出し
3	9月4日	田上団地町内会	20	防災講話、グループワーク
4	11月13日	花尾コミュニティ協議会	100	防災講話、炊き出し
5	11月19日	明和北町内会	15	防災講話、炊き出し
6	1月21日	谷山校区コミュニティ協議会	21	防災講話、救急法
7	3月5日	樋之口町内会	50	炊き出し、救急法
8	3月15日	東郷ひまわり会	24	炊き出し、救急法

## (11) 赤十字防災セミナーの実施

過去の災害から得た教訓を踏まえ、いつ起こるか分からない災害から命を守るために必要な「自助」と「共助」の力を高めていただく「防災・減災教育」の一環として、赤十字防災セミナーを下記のとおり実施した。

	実施日	実施地区 (場所)	実施団体	受講者 (人)	実施内容
1	4月22日	鹿児島市 (マリンパレスかごしま)	日本赤十字社鹿児島県支部 (地区・分区職員対象)	60	災害エスノグラフィー
2	6月8日	南九州市 (障害者支援施設慈生園)	障害者支援施設慈生園	3	災害エスノグラフィー
3	7月9日	鹿屋市 (花岡学園)	花岡学園	65	災害への備え
4	7月14日	鹿児島市 (市民福祉プラザ)	民生委員・児童委員協議会 (鹿児島市清水・坂元・ 大竜・名山地区)	95	災害への備え
5	8月8日	鹿児島市 (城南小学校)	南日本リビング新聞社 (防災・減災プロジェクト)	33	災害図上訓練 (DIG)
6	8月9日	鹿児島市 (田上小学校)	南日本リビング新聞社 (防災・減災プロジェクト)	46	災害図上訓練 (DIG)
7	8月28日	鹿児島市 (鹿児島大学教育学部附属小学校)	南日本リビング新聞社 (防災・減災プロジェクト)	46	災害図上訓練 (DIG)
8	11月26日	鹿児島市 (武公民館)	武町内会	26	災害への備え
9	12月11日	鹿児島市 (荒田公民館)	荒田校区コミュニティ協議会	49	災害への備え
10	12月13日	鹿児島市 (株)プライムアシスタンス	(株)プライムアシスタンス	26	災害への備え
11	2月27日	南九州市 (障害者支援施設慈生園)	障害者支援施設慈生園	30	家具安全対策 ゲーム (KAG)
12	3月2日	南九州市 (知覧中学校)	知覧中学校	80	災害への備え

- ・災害エスノグラフィー：大規模災害での被災者の経験談を通じて、災害を迫体験することで被災の具体的なイメージを理解する。
- ・災害図上訓練 (DIG)：地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。
- ・災害への備え：災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から、平時の備えの重要性を理解する。
- ・家具安全対策ゲーム (KAG)：地震で起こる被害をどのように減らすか、自宅 (部屋) の平面図を描くことにより、危険箇所を把握し、自らが家具の安全対策の必要性を理解する。

## (12) 死亡弔慰金の支給

自然災害（地震、台風、高潮、洪水等）及び火災により死亡した方の遺族に対し、死亡弔慰金（死亡者1人につき、20,000円）を支給した。

地区・分区名	支給月	件数	支給金額（円）
薩摩川内市地区東郷分区	5	1	20,000
霧島市地区	6	1	20,000
志布志市地区	6	1	40,000
薩摩川内市地区祁答院分区	9	1	20,000
南九州市地区穎娃分区	9	1	20,000
鹿児島市地区	11	1	60,000
東串良町分区	1	1	20,000
曾於市地区大隅分区	2	1	20,000
鹿屋市地区	1	1	20,000
鹿児島市地区	3	2	40,000
日置市地区伊集院分区	3	1	20,000
計		12	300,000

### (13) 義援金の取扱い状況

国内において発生した災害被災者を救援するため義援金を募集し、県民の皆様から温かい善意をお寄せいただいた。令和5年3月31日現在

義援金の名称（受付期間）	累 計	
	件数	金 額（円）
平成30年7月豪雨災害義援金 （平成30年7月10日～令和4年6月30日）	643	100,614,613
令和2年7月豪雨災害義援金 （令和2年7月7日～令和4年9月30日）	407	26,825,455
令和4年3月福島県沖地震災害義援金 （令和4年3月23日～令和4年6月30日）	25	405,650
令和4年7月大雨災害義援金 （令和4年8月8日～令和4年10月31日）	25	107,312
令和4年8月3日からの大雨災害義援金 （令和4年8月12日～令和5年3月31日）	47	736,570
令和4年台風第15号等大雨災害義援金 （令和4年9月29日～令和4年12月28日）	25	329,296
合 計	1,172	129,018,896

寄せられた義援金（県支部受付分）は、全額日本赤十字社本社を通じて被災自治体に送金している。

## 2 看護師の養成

鹿児島県支部及び鹿児島赤十字病院では、優秀な看護学生の就学を支援するために、日本赤十字九州国際看護大学の看護学生を対象とした奨学金制度を設けている。

令和4年度は、下記のとおり奨学金を貸与した。

- (1) 日本赤十字社鹿児島県支部 ※支部長の推薦を受けて入学した看護学生が対象  
看護学生2名（1年生、4年生：各1人）に年額90万円を貸与
- (2) 鹿児島赤十字病院  
看護学生3名（1年生、3年生、4年生：各1人）に年額70万円を貸与



日本赤十字九州国際看護大学



授業の様子

### 3 救急法等の講習

県民の方々に人命を救う方法や健康で安全に暮らすための知識や技術を伝える救急法、水上安全法、幼児安全法及び健康生活支援講習を、次のとおり実施した。

◇各種講習の開催状況

講習種別		回数（回）	受講者（人）
救 急 法	基 礎 講 習	20	380
	救 急 員 養 成 講 習	9	177
	短 期 講 習	139	7,908
	計	168	8,465
水 上 安 全 法	救 助 員 養 成 講 習 I	0	0
	救 助 員 養 成 講 習 II	0	0
	短 期 講 習	12	619
	計	12	619
健 康 生 活 支 援 講 習	支 援 員 養 成 講 習	1	4
	短 期 講 習	24	808
	計	25	812
幼 児 安 全 法	支 援 員 養 成 講 習	6	100
	短 期 講 習	69	1,321
	計	75	1,421
合 計		280	11,317

## (1) 救急法

日常生活における事故防止や手当の基本、心肺蘇生、AED（自動体外式除細動器）を用いた電気ショック、止血の仕方、搬送、災害時の心得などについての知識と技術を学ぶ講習。

### ア 基礎講習

	実施日	対象	主催	受講者(人)
1	4月 20日	学生	鹿児島県立加世田常潤高等学校	9
2	5月 7日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	9
3	6月 4日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	11
4	6月 21日	職域	鹿児島県警察学校	36
5	7月 4日	学生	鳳凰高等学校	22
6	7月 23日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	12
7	7月 28日	学生	鹿児島県立薩摩中央高等学校	11
8	8月 13日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	13
9	8月 30日	学生	鹿児島県立薩摩中央高等学校	9
10	9月 5日	学生	鹿児島城西高等学校	15
11	10月 9日	職域	株式会社ユトリ	14
12	10月 18日	職域	鹿児島県社会福祉協議会	20
13	11月 8日	学生	鳳凰高等学校	16
14	11月 12日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	14
15	11月 15日	職域	鹿児島県警察学校	43
16	1月 16日	学生	霧島市立国分中央高等学校	37
17	2月 2日	職域	屋久島環境文化研修センター	12
18	2月 7日	学生	志学館大学	7
19	2月 11日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	9
20	3月 7日	学生	神村学園専修学校	61
合計 20回				380

## イ 救急員養成講習

	実施日	対象	主 催	受講者(人)
1	6月5日～12日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	9
2	6月21日～23日	職域	鹿児島県警察学校	36
3	8月14日～21日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	8
4	11月9日～11日	学生	鳳凰高等学校	16
5	11月16日～17日	職域	鹿児島県警察学校	43
6	1月17日～19日	学生	霧島市立国分中央高等学校	38
7	2月3日～4日	職域	屋久島環境文化研修センター	12
8	2月8日～9日	学生	志学館大学	7
9	2月12日～19日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	8
合計9回				177

## ウ 「ワールド・ファーストエイド・デー 2022」

国際赤十字・赤新月社連盟が、9月の第2土曜日を「World First Aid Day」と定め救急法等の普及を世界各地で行っており、鹿児島県支部もこれに合わせて9月11日（日）に鹿児島市のオプシアミスミにて、応急手当に関するパネル展示や体験ブースのイベントを開催し、102名の参加があった。



イベントの様子

## エ 短期講習

県下各地域で139回実施し、7,908人の受講者があった。

## (2) 水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るため、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習。

### ア 親子で体験！「海の安全教室」

水に親しみ、水の事故から命を守るために必要な知識・技術を学んでいただくことを目的に計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や桜島噴火に伴う警戒レベル引き上げの状況を踏まえ中止した。

### イ 短期講習

県下各地域で12回実施し、619人の受講者があった。

## (3) 健康生活支援講習

誰もが迎える高齢期を健やかに生きるために必要な健康増進の知識や、高齢者の支援・自立に役立つ介護技術を学ぶ講習。

### ア 支援員養成講習

	実施日	対象	主催	受講者(人)
1	10月22日～23日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	4
合計1回				4

### イ 短期講習

県下各地域で24回実施し、808人の受講者があった。

## (4) 幼児安全法

子どもを大切に育てるために、乳・幼児期に起こりやすい事故の予防とその手当、かかりやすい病気の症状に対する手当などの知識と技術を学ぶ講習。

### ア 支援員養成講習

	実施日	対象	主催	受講者(人)
1	7月30日～31日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	6
2	9月12日～13日	学生	第一幼児教育短期大学	6
3	10月1日～2日	一般	日本赤十字社鹿児島県支部	11
4	1月30日～31日	学生	鹿児島キャリアデザイン専門学校	31
5	2月6日～8日	学生	鳳凰高等学校	16
6	3月9日～10日	学生	鹿児島女子短期大学	30
合計6回				100

### イ 短期講習会

県下各地域で69回開催し、1,321人の受講者があった。

(5) 救急法等指導員の在籍状況

令和5年3月31日現在

区 分	支部職員 (人)	施設職員 (人)	ボランティア (人)	計 (人)
救 急 法	5	26	74	105
水 上 安 全 法	1	10	30	41
健康生活支援講習	1	14	9	24
幼 児 安 全 法	2	9	25	36

## 4 赤十字奉仕団の活動

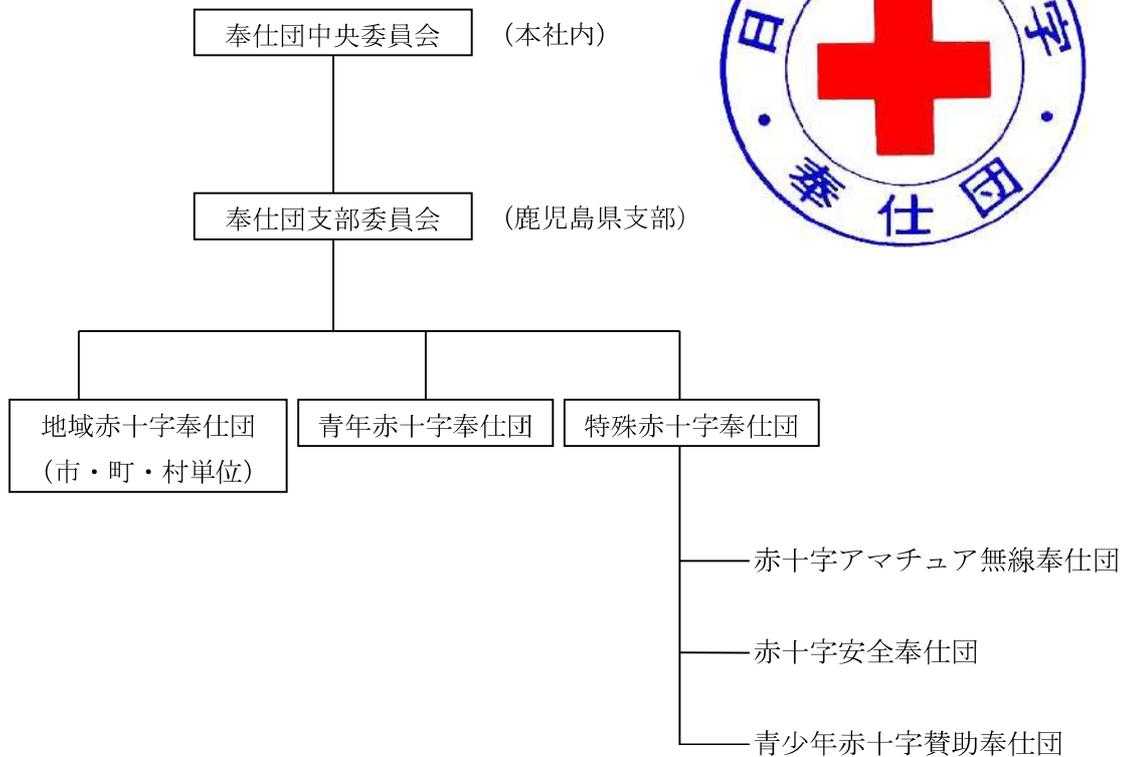
赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神のもとに、赤十字の使命とする人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティアの組織である。

赤十字奉仕団は、明るく住みよい地域社会を築きあげていくために地域ごとに結成されている地域赤十字奉仕団と、勤労青年や学生によって結成されている青年赤十字奉仕団、及びアマチュア無線など特殊な技術を持った人達で結成されている特殊赤十字奉仕団からなっている。

### 赤十字奉仕団員の信条

- 一、すべての人びとのしあわせをねがい、陰の力となって人びとに奉仕する。
- 一、常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める。
- 一、身近な奉仕をひろげ、すべての人びとと手をつないで、世界の平和につくす。

### (1) 赤十字奉仕団組織図



**(2) 赤十字奉仕団及び奉仕団員数**

令和5年3月31日現在

区 分		団数	団 員 数		
			男 (人)	女 (人)	計 (人)
地域赤十字奉仕団		59	148	11,790	11,938
青年赤十字奉仕団		1	4	6	10
特殊 奉 仕 団	赤十字アマチュア無線奉仕団	1	316	8	324
	赤十字安全奉仕団	1	87	55	142
	青少年赤十字賛助奉仕団	1	39	7	46
計		63	594	11,866	12,460

**(3) 地域赤十字奉仕団結成状況**

令和5年3月31日現在

区 別	市町村数 (A)	奉仕団結成地域 (B)	奉仕団数	結 成 率 (B/A) (%)
市	19	16	42	84.2
町・村	24	18	18	75.0
計	43	34	60	79.1

**(4) 総会及び研修会等開催状況**

行 事 名	期 日	参加者(人)	会 場	主 催
青年赤十字奉仕団総会	4月17日	7	赤十字会館	青年奉仕団
赤十字安全奉仕団総会	4月23日	55	赤十字会館 (オンライン併用)	安全奉仕団
青少年赤十字賛助奉仕団総会	5月21日	16	赤十字会館	賛助奉仕団
赤十字奉仕団鹿児島県 支 部 委 員 会	5月24日	12	県婦人会館	支部委員会 支 部
赤十字奉仕団委員長会議	6月13日	41	赤十字会館 (オンライン併用)	支 部
赤十字ボランティア リーダーシップ研修	11月10日	21	赤十字会館	支 部
九州ブロック 赤十字奉仕団委員長会議	1月18~19日	2	赤十字会館 (オンライン併用)	鹿児島県支部 鹿児島県支部
赤十字奉仕団(ボランティア) 活動のための技術研修会	3月8日	39	赤十字会館	支 部

## (5) 地域赤十字奉仕団研修会開催状況

赤十字についての知識や奉仕団活動に必要な技術を習得し、奉仕団員の意識高揚を図ることを目的に次の12奉仕団で研修会を実施した。

奉仕団名	開催日	参加者(人)	会場
志布志市志布志	6月9日	15	志布志市健康ふれあいプラザ
日置市日吉	7月15日	35	日吉町老人福祉センター
和泊町	7月24日	15	防災拠点施設やすらぎ館
天城町	7月26日	50	天城町防災センター
徳之島町	7月27日	50	徳之島町地域福祉センター
伊仙町	7月27日	30	西伊仙児童館
日置市伊集院	9月12日	53	日置市中央公民館
鹿児島市郡山	9月22日	30	郡山中央構造改善センター
志布志市有明	9月30日	34	川西地区公民館
指宿市指宿	10月18日	30	指宿老人福祉センター
鹿児島中央	11月8日	36	鹿児島市教育総合センター
日置市吹上	11月15日	43	永吉地区公民館

## (6) 地域高齢者生活支援事業の実施

地域赤十字奉仕団が高齢者世帯を訪問し、話し相手・買物・清掃援助等の生活支援活動を実施した。活動費の補助として次の24奉仕団に1団あたり3万円を交付した。

- ・鹿児島市吉田
- ・鹿児島市郡山
- ・鹿児島市城山さずな
- ・指宿市指宿
- ・薩摩川内市川内
- ・薩摩川内市祁答院
- ・日置市吹上
- ・霧島市国分
- ・霧島市隼人
- ・霧島市牧園
- ・南さつま市
- ・志布志市志布志
- ・志布志市有明
- ・奄美市住用
- ・奄美市笠利
- ・始良市始良
- ・始良市加治木
- ・始良市蒲生
- ・さつま町
- ・屋久島町
- ・徳之島町
- ・伊仙町
- ・和泊町
- ・知名町

(7) 赤十字奉仕団登録一覧表

令和5年3月31日現在

番号	奉仕団名	結成年月日	団員数(人)			番号	奉仕団名	結成年月日	団員数(人)		
			男	女	合計				男	女	合計
1	鹿児島市	S25.4.1	0	14	14	36	南九州市穎娃	S24.12.1	0	58	58
2	鹿児島中央	S41.4.1	0	97	97	37	南九州市川辺	S24.12.1	0	60	60
3	鹿児島市谷山	S52.4.1	0	25	25	38	伊佐市	H2.10.5	50	86	136
4	鹿児島市吉田	S24.12.1	0	18	18	39	姶良市姶良	S30.4.1	0	21	21
5	鹿児島市郡山	S24.12.1	0	30	30	40	姶良市加治木	R2.4.1	0	20	20
6	鹿児島市城山きずな	R2.4.1	0	8	8	41	姶良市蒲生	S24.12.1	0	80	80
7	鹿屋市	S24.12.1	0	100	100	42	さつま町	S24.12.1	0	19	19
8	出水市	H10.3.19	4	85	89	43	大崎町	S56.4.1	0	37	37
9	指宿市指宿	S24.12.1	0	26	26	44	錦江町※	S24.12.1			
10	指宿市山川	S24.12.1	0	35	35	45	南大隅町	S24.12.1	0	155	155
11	西之表市	S24.12.1	0	29	29	46	肝付町	S24.12.1	0	88	88
12	薩摩川内市川内	H3.4.17	0	162	162	47	南種子町	S52.4.1	0	431	431
13	薩摩川内市樋脇	S24.12.1	0	30	30	48	屋久島町	S24.12.1	0	62	62
14	薩摩川内市入来	S56.4.1	0	40	40	49	大和村	H元.7.21	0	63	63
15	薩摩川内市東郷	S24.12.1	2	118	120	50	宇検村	H5.7.1	0	60	60
16	薩摩川内市祁答院	S24.12.1	0	60	60	51	瀬戸内町	S62.4.28	0	380	380
17	薩摩川内市下甕	H28.4.1	10	32	42	52	龍郷町	S62.5.10	0	680	680
18	日置市東市来	S24.12.1	0	10	10	53	喜界町	H2.5.17	0	643	643
19	日置市伊集院	S24.12.1	0	70	70	54	徳之島町	H元.4.1	0	650	650
20	日置市日吉	S24.12.1	0	100	100	55	天城町	H元.4.1	0	700	700
21	日置市吹上	S56.4.1	0	267	267	56	伊仙町	H元.7.1	0	240	240
22	曾於市大隅	S30.4.1	15	95	110	57	和泊町	S59.8.15	0	300	300
23	曾於市財部	S38.4.1	0	30	30	58	知名町	S62.6.1	0	216	216
24	曾於市末吉	S52.4.1	63	232	295	59	与論町※	S62.5.1	0	31	31
25	霧島市国分	S24.12.1	0	346	346	地域奉仕団 計59団			148	11,790	11,938
26	霧島市牧園	S24.12.1	4	111	115						
27	霧島市霧島	S24.12.1	0	24	24						
28	霧島市隼人	S24.12.1	0	360	360	60	青年	S30.4.1	4	6	10
29	いちき串木野市	S24.12.1	0	2,966	2,966	青年奉仕団 計1団			4	6	10
30	南さつま市	S24.12.1	0	230	230						
31	志布志市志布志	S56.4.1	0	50	50	61	安全	S54.2.17	87	55	142
32	志布志市有明	S24.12.1	0	50	50	62	アマチュア無線	S50.4.1	316	8	324
33	奄美市名瀬	S60.9.1	0	240	240	63	賛助	H14.11.13	39	7	46
34	奄美市住用	H元.7.1	0	120	120	特殊奉仕団 計3団			442	70	512
35	奄美市笠利	S62.9.1	0	500	500	総計 63団			594	11,866	12,460

※錦江町地域赤十字奉仕団は活動休止(令和3年度～)

## 5 青少年赤十字の活動

赤十字は、未来を担う子どもたちが、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、優しさや思いやりの心を育むために、学校教育現場において青少年赤十字活動を推進しており、活動の充実のために児童・生徒対象の研修会や、各学校・園の指導者向けの講習会を行った。

わたくしは  
青少年赤十字の一員として  
心身を強健にし  
人のためと郷土社会のため  
国家と世界のために  
つくすことをちかいます

ち  
か  
い



**実践目標**

国際理解・親善  
奉仕  
健康・安全

**態度目標**

実行する  
考え  
気づき

### (1) 校種別加盟状況

令和5年3月31日現在

区 分	加盟学校(園)	メンバー(人)	鹿児島県内の設置状況等	
			学校(園)	児童生徒(人)
幼稚園	14	1,284	106	6,369
保育園	27	1,159	-	-
認定こども園	19	2,076	262	18,556
小学校	269	47,192	488	87,638
中学校	109	21,818	216	45,412
義務教育学校	6	583	9	972
高等学校	23	11,702	89	41,172
特別支援学校	3	397	17	2,656
合 計	470	86,211	1,187	202,775

※鹿児島県内の学校(園)数、児童生徒数(保育園を除く)は令和4年4月6日現在。

(休校中の学校は除く。令和4年度「鹿児島県の教育行政」より)

保育所(園)は、教育委員会管轄でないため、園数・園児数については実数を把握できない。

## (2) 加盟校の推移

年 度	区 分	幼・保・こ	小学校	中学校	義務教育	高校	特別支援	小～特 小計	合計
令和4年	学校(園)数	60	269	109	6	23	3	410	470
	県加盟校率	-	55.1	50.5	66.7	25.8	17.6	50.1	-
	メンバー数	4,519	47,192	21,818	583	11,702	397	81,692	86,211
	県メンバー率	-	53.8	48.0	60.0	28.4	14.9	45.9	-
令和3年	学校(園)数	62	283	116	6	24	4	433	495
	県加盟校率	-	57.5	53.7	66.7	27.0	23.5	52.6	-
	メンバー数	4,871	50,073	22,883	586	10,696	323	84,561	89,432
	県メンバー率	-	56.5	50.5	59.0	25.6	12.5	47.2	-
令和2年	学校(園)数	64	297	124		23	4	448	512
	県加盟校率	-	59.5	55.1		25.8	23.5	54.0	-
	メンバー数	5,263	51,355	22,852		9,853	320	84,380	89,643
	県メンバー率	-	57.2	50.9		23.1	12.9	46.9	-

## (3) 会議等の参加及び開催

	行 事 人	期 日	会 場	参加者
本社	青少年赤十字支部担当者研修会(オンライン会議)	4月8日	赤十字会館	JRC 担当
	青少年赤十字全国指導者協議会総会(オンライン会議)	6月29日	赤十字会館	副会長
	全国青少年赤十字賛助奉仕団総会役員会	7月14日・15日	本 社	委員長
九州	青少年赤十字指導者協議会会長・担当者会議	2月21日	赤十字会館	会 長 JRC 担当
支部	青少年赤十字指導者協議会総会	5月21日	赤十字会館	48人

#### (4) 研修活動

	行 事 名	期 日	会 場	参加者等
本社	青少年赤十字 L・T・C 指導者養成講習会	中 止		
	指導主事対象青少年赤十字研究会	中 止		
	青少年赤十字創設 100 周年記念国際交流事業(オンライン)	1部 10月 2日 2部 11月 5・6日	赤十字会館	10人
	青少年赤十字スタディー・プログラム (3/21 オンライン、3/25 参集)	3月 21日・25日	赤十字会館	高校生 2人 指導者 1人
九州	九州ブロック青少年赤十字指導者講習会(オンライン会議)	8月 20日	福岡県担当	1人
支部	校長・教頭・指導主事対象青少年赤十字研修会	6月 25日	赤十字会館	13人
	青少年赤十字指導者講習会 I	7月 2日	赤十字会館	6人
	離島 L・T・C(与論島)	7月 16日	与論町防災センター	15人
	青少年赤十字指導者講習会 II	8月 23日	赤十字会館	9人
	青少年赤十字高校生協議会秋季総会	9月 11日	赤十字会館	16人
	小学校一日 L・T・C	11月 26日	赤十字会館	14人
	中学校一日 L・T・C	11月 26日	赤十字会館	26人
	高等学校一日 L・T・C	11月 13日	赤十字会館	13人
	青少年赤十字高校生協議会春季総会	3月 5日	赤十字会館	中 止

※L・T・C = リーダーシップ・トレーニング・センター



中学校一日 L・T・C



青少年赤十字指導者講習会

## (5) 高校協議会の活動

- ア 月例会の開催（月1回）
- イ 特別養護老人ホーム「錦江園」の訪問
  - ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により訪問を自粛した。
- ウ 献血ルームでのボランティア
  - ・献血ルームでの献血の呼びかけ。

## (6) 青少年赤十字創設 100 周年記念・県支部創立 130 周年記念事業

青少年赤十字創設 100 周年・県支部創立 130 周年を記念して、100 文字作文・絵画コンクールを実施した。

- ア 100 文字作文コンクール（児童・生徒対象）
  - 93校 10,518点作品応募
- イ 絵画コンクール（園児対象）
  - 5園 111点の作品応募

## (7) 機関紙の発行

- ・青少年赤十字機関紙「ふれあいの窓（第40号）」 2,000部
- ・高校生機関紙「光輝（第31号）」 800部
- ・青少年赤十字賛助奉仕団会報「さくらじま（第12号）」 850部

## (8) その他の青少年赤十字活動

- ア NHK海外たすけあい街頭募金への参加
  - 12月に県内各地において、海外助け合い募金活動を行っている。
- イ 病気見舞カードの作成
  - 病院に入院されている人々に病気お見舞いカードを送付している。
- ウ 使用済み切手・書損じはがきの回収
  - 取り扱い団体が換金し、アジア、アフリカの医療に恵まれない人々の、保健医療の面でのサポートの資金として活用される。
- エ ペットボトル・キャップの回収
  - 取り扱い団体が換金し、予防接種を受けられない発展途上国の子どもたちのワクチン代等として活用される。
- オ 1円玉募金の実施
  - 2カ国（ネパール、バヌアツ）に対し、子どもたちが衛生的な行動を身につける知識と技術の普及や、学校における災害リスクの軽減や防災の正しい知識を得る環境整備を目的とした支援を実施している。
- カ プルタブの回収
  - 学校で集めたプルタブをリサイクル業者で換金後、1円玉募金として、本社に送金している。

## (9) 校種別加盟校名簿

ア 保育園・幼稚園・認定こども園

令和5年3月31日現在

市町村	保育園	幼稚園	認定こども園
鹿児島市	真砂、武 ほびあこども、柳田 南林寺、玉里、西紫原 清水、あたご、下伊敷 田上、鴨池、薬師 吉野、松原、なぎさ	太陽の子、鴨池しらうめ 鹿児島、武 鹿女短附属かもめ 鹿女短附属すみれ	玉里善き牧者、清谿 谷山善き牧者、若葉 辻ヶ丘、桜ヶ丘中央
鹿屋市			信愛こどもの園 いずみ
指宿市		柳和、指宿	
垂水市		江ノ島	カトリック垂水
薩摩川内市	高城、大村、隈之城 青山、勝目、あさひ	ひわき、かのこ ◎城上	青山、善福寺、びぼあ
日置市	あづま	土橋	
曾於市			大隅中央
始良市	川野		
霧島市			かとれあ、あおば
南さつま市		加世田しらうめ	
南九州市	颯娃		
さつま町			恵光
肝付町			おおぞら、あけぼの
屋久島町			すみれ
和泊町	わどまり		
知名町	しらゆり		
計	27園	14園	19園

◎は新規加盟 (R4)

市町村	小学校	中学校
鹿児島市	大明丘、名山、山下、城南、原良 明和、武岡、清水、福平、武 田上、広木、中洲、中名、八幡 紫原、鴨池、南、桜丘東、宇宿 向陽、伊敷、伊敷台、花野、黒神 谷山、吉野東、坂元台、清和、平川 坂元、中郡、花尾、皇徳寺、本名 宮、本城、牟礼岡、桜洲、東桜島 前之浜、石谷、春山、郡山、南方 生見、喜入、桜峰、瀬々串、西田 西紫原、大龍、西伊敷、吉田 東谷山、◎星峯東	坂元、甲東、武岡 武、天保山、南、伊敷台 黒神、谷山、谷山北 吉田北、吉田南、鴨池、伊敷 桜島、郡山、福平、桜丘、松元 吉野、星峯、喜入
鹿屋市	笠野原、田崎、西原、寿、祓川 串良、野里、南、輝北 上小原、細山田、大黒 鹿屋、大始良、鶴峰 高隈、東原、寿北、西俣 西原台、吾平、下名、花岡学園	鹿屋、第一鹿屋、鹿屋東 串良、上小原、吾平、輝北 花岡学園、大始良、細山田、高隈 田崎
枕崎市	枕崎、立神	立神
阿久根市	折多、脇本、大川 阿久根、尾崎	三笠、鶴川内
出水市	出水、西出水、米ノ津、米ノ津東 上場、野田、蕨島、下水流、	出水、高尾野、※鶴荘学園 米ノ津
指宿市	今和泉、開聞、川尻	南指宿、西指宿
西之表市	下西、上西、伊関、古田	
垂水市	柁原、協和、牛根、松ヶ崎、新城 垂水	垂水中央
薩摩川内市	川内、隈之城、平佐東、永利、峰山 八幡、高来、樋脇、水引、◎育英 副田、藺傘田、上手、 手打 大裏、城上 黒木、入来、市比野、	入来、祁答院 里、海星 水引、※東郷学園 ◎れいめい中学校
日置市	湯田、美山 伊集院、土橋、永吉	上市来、土橋、鹿児島育英館 伊集院
曾於市	笠木、高岡、諏訪、岩北、櫛 深川、柳迫、月野、財部南 光神、恒吉、中谷、岩南	財部
霧島市	国分、横川、安良、佐々木、中津川 霧島、小浜、福山、中福良、向花 万膳、大田、国分南、塚脇	国分、牧園 隼人、溝辺、◎横川 牧之原

市町村	小学校	中学校
いちき串木野市	串木野、照島、羽島、旭、生福川上、神村学園初等部	串木野、串木野西、生冠、市来神村学園中等部
南さつま市	加世田、阿多、笠沙、田布施長屋、川畑	加世田、金峰
志布志市	泰野、志布志、原田、森山、田之浦有明、松山、通山、尾野見	有明、松山、宇都
奄美市	朝日、赤木名、緑が丘、手花部佐仁、節田、崎原、◎屋仁	小宿、崎原
南九州市	穎娃、別府、松ヶ浦、大丸中福良、霜出、九玉、川辺、勝目	川辺
伊佐市	大口東、羽月、曾木、羽月西本城、牛尾、菱刈	
始良市	三船、北山、加治木、帖佐漆、西浦、蒲生	山田
三島村		※三島、※大里、※竹島、※片泊
十島村	平島	平島
さつま町	鶴田、永野、柏原	宮之城
長島町	城川内	川床、長島、鷹巣
湧水町		吉松
大崎町	大丸、大崎、中沖	
東串良町	柏原	
錦江町	神川、大原	田代、錦江
南大隅町	神山、佐多	根占、第一佐多
肝付町	波野、内之浦、国見	
中種子町	星原	
南種子町	花峰、莖南、大川、平山、長谷	
屋久島町	金岳、八幡、神山	金岳、安房
大和村	大棚、今里	大和
宇検村	名柄	田検、名柄
瀬戸内町	薩川、諸鈍、伊子茂与路、阿木名、池池	諸鈍、伊子茂阿木名、与路、池地
龍郷町	龍郷、円、龍瀬、赤徳	赤徳
喜界町		喜界
徳之島町	亀津、花徳、母間、神之嶺、手々、山、尾母、亀徳	井之川、亀津、東天城、手々、山、尾母
天城町	兼久	北
伊仙町	喜念、糸木名	面縄
和泊町	大城、内城、国頭、和泊	城ヶ丘、和泊
知名町	下平川、上城	田皆、知名
与論町	那間、与論、茶花	与論
計	269校	109校 ※6校

◎は新規加盟（R4） ※義務教育学校

## ウ 高等学校・特別支援学校

令和5年3月31日現在

市町村	高等学校・特別支援学校
鹿児島市	鹿児島玉龍、鹿児島実業、鹿児島、鹿児島情報、鹿児島女子、 甲南、樟南、武岡台、◎鹿児島純心女子
鹿屋市	鹿屋養護学校、鹿屋
枕崎市	鹿児島水産
指宿市	指宿、指宿養護学校
薩摩川内市	◎れいめい高等学校
日置市	鹿児島育英館、鹿児島城西
霧島市	国分中央、福山
いちき串木野市	神村学園
南さつま市	鳳凰、加世田常潤
志布志市	尚志館
南九州市	薩南工業
中種子町	中種子養護学校
与論町	与論
計	26校

◎は新規加盟（R4）

高校23校、特別支援学校3校

## 6 国 際 活 動

現在、世界192の国と地域に赤十字社や赤新月社等があり、日本赤十字社は、その一員としてジュネーブにある赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟及び各国の赤十字社や赤新月社と連携を取り、紛争や自然災害などで苦しんでいる人々に対する緊急・復興支援から長期にわたる人道支援ニーズへの対応を行っている。

### (1) 「NHK海外たすけあい」寄付金募集

12月1日から25日まで、日本放送協会（NHK）及び社会福祉法人NHK厚生文化事業団との共催により「第40回NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施した。

県内6会場で実施した街頭募金活動を含め、期間中県全体で総額4,806,414円の温かい善意をお寄せいただいた。



街頭募金の様子（天文館）



街頭募金の様子（始良）

### (2) 海外救援金の取扱い状況（鹿児島県支部受付分）

（令和5年3月31日現在）

救援金の名称（受付期間）	累 計	
	件 数	金 額（円）
中東人道危機救援金 （平成27年4月1日～令和6年3月31日）	8	57,714
バングラデシュ南部避難民救援金 （平成29年9月22日～令和6年3月31日）	3	7,137
アフガニスタン人道危機救援金 （令和3年9月22日～令和6年3月31日）	4	71,000
ウクライナ人道危機救援金 （令和4年3月2日～令和6年3月31日）	128	11,713,416
2022年アフガニスタン地震救援金 （令和4年6月27日～令和4年9月30日）	4	2,908
2022年パキスタン洪水救援金 （令和4年9月6日～令和4年11月30日）	1	2,000
2023年トルコ・シリア地震救援金 （令和5年2月9日～令和5年5月31日）	91	7,624,475
海外救援金 （通期）	1	1,923
合 計	240	19,480,573

### (3) その他

#### ア 外国からの引揚者に対する援護

中国からの本県永住帰国者に対し長年の苦勞に報いるため、援護金及び援護品を支給しているが、令和4年度の該当は無かった。

#### イ 安否調査

赤十字では、戦争その他の事故等により海外で消息を絶った人の動静を調査しているが、令和4年度の取り扱いは無かった。

## 7 広 報 活 動

赤十字に対する県民のご理解とご協力の促進を図るため、5月の会員増強運動月間を中心に、チラシや機関紙の配布、地区・分区の協力を通じた地域住民への広報を行ったほか、各地区・分区、奉仕団、青少年赤十字加盟校などへ視聴覚資材の貸出しを行い、赤十字思想の普及に役立てていただいた。

### (1) 5月の会員増強運動月間広報

#### ア 「赤十字レッドライトアッププロジェクト2022」の実施

株式会社山形屋にご協力をいただき、5月1日から5月31日までの期間、建物を赤色にライトアップし、赤十字運動月間の周知及び「人道」の理解促進を図るとともに、同施設に懸垂幕を掲出し、赤十字活動資金へのご協力の呼びかけを行った。



### (2) 各種イベント等の活用による広報

#### ア 社会福祉大会での広報

各市町村社会福祉協議会主催の「社会福祉大会」において、非常食の炊き出し、事業紹介パネル等の展示を行い、赤十字活動の周知に努めた。



令和4年度「肝付町社会福祉大会」の様子

### イ 地域イベントでの広報

鹿児島市主催の「元気フェスタ in かんまちあ」において、救援物資やパネル展示、救護服試着体験などを行い、赤十字活動のPRを行った。



令和4年度「元気フェスタ in かんまちあ」の様子

### ウ 日本赤十字社鹿児島県支部創立130周年事業 ～災害の記憶展～

日本赤十字社鹿児島県支部創立130周年を記念し、オプシアミスミ（鹿児島市）において、9月9日（金）～11日（日）に、鹿児島県内の災害や本県支部による救護活動に関するパネル及び救援物資の展示、防災に関する啓発等、赤十字活動のPRを行った。



### (3) 見学誘致による広報

地域団体や学生等の研修視察場所として県支部の倉庫等を見学いただき、本県支部の事業内容及び会費の使途等についての理解促進に努めた。



#### (4) 刊行物による広報

##### ◆支部発行◆

機関紙「赤十字かごしま」	年2回	74,500部
事業年報	年1回	530部
事業計画	〃	150部
赤十字会員増強運動月間用チラシ	〃	310,936部

##### ◆本社発行◆

赤十字新聞	月刊	21,200部
パンフレット	年1回	7,000部
ポスター	〃	2,150部

#### (5) 各報道機関等による広報

##### ア コミュニティラジオでの広報

毎週水曜日10:00からのFMぎんが(78.6MHz)の『Naoのしーずfor the ふゆーちゃー♪』に、支部職員や赤十字奉仕団のメンバーが交代で出演し、赤十字の活動や歴史などを紹介した。

○FM78.6MHzまたはFM++(FMプラプラ)の無料アプリから視聴可能。



ラジオでの広報活動の様子

##### イ WEBサイトやSNSでの広報

県支部WEBサイトやFacebook、Instagramを活用して、赤十字事業や各種の情報について広く県民各層に紹介した。

○当県支部WEBサイトURL : <https://www.jrc.or.jp/chapter/kagoshima/>

○当県支部公式Instagram ID : @nisseki\_kagoshima

○当県支部公式Facebook ID : @jrc.kagoshima

## (6) SDGsへの取組み

鹿児島県SDGs登録制度への登録

鹿児島県が令和4年度から開始した、「鹿児島県SDGs登録制度」の第1回登録事業者として登録された。

※本制度は、SDGsに積極的に取り組む企業等を登録し、当該企業等の取組の「見える化」を行い、広く情報発信することで、当該企業等の更なる取組を促進するとともに、自発的な取組を県内に広げていくことを目的として、鹿児島県が募集しているもの。

(参考)

かごしまSDGs推進パートナーへの登録（令和3年5月）

※本制度は、鹿児島市がSDGsの推進に取り組む企業・団体等を募集するもの。

## 8 赤 十 字 大 会

### (1) 全国赤十字大会

5月19日(木)日本赤十字社名誉総裁皇后陛下及び名誉副総裁各妃殿下のご臨席のもと、東京明治神宮会館において開催され、本県支部から7名が出席した。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、参会人数を制限した形で行われた。

### (2) 九州八県赤十字大会

11月22日(火)、宮崎県のシーガイアコンベンションセンターにおいて開催され、本県支部から28人が出席した。

・本件の受章(彰)者(社)

金色有功章 8件、銀色有功章 29件、日本赤十字社社長感謝状 12件

### (3) 鹿児島県赤十字有功会総会

有功章等受(彰)章者(社)で組織されている鹿児島県赤十字有功会の総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により書面開催となった。

令和3年度事業報告、同収支決算、令和4年度事業計画(案)、同収支予算(案)および役員選出案が提案され、原案どおり承認された。

## 9 会 員 増 強 運 動

赤十字が行う各種事業の財源は、県民からの社資（会費や寄付金）によって支えられており、5月の「会員増強運動月間」を中心に、各地区・分区等関係者のご協力のもと、その増強に努めた。

また、継続的な社資を納入に加え、赤十字の事業・活動に積極的に協力していただける企業（赤十字サポーター）の募集に努めた。

### （1）令和4年度会費募集状況及び過去5カ年間の推移

区分 年度	目 標 額 (千円)	実 績 額 (円)	達 成 率 (%)	
平成30年度	一般会費	233,000	196,675,659	84.4
	法人会費	32,000	17,608,507	55.0
	計	265,000	214,284,166	80.9
令和元年度	一般会費	228,000	186,508,131	81.8
	法人会費	32,000	18,445,979	57.6
	計	260,000	204,954,110	78.8
令和2年度	一般会費	228,000	214,292,982	94.0
	法人会費	32,000	31,444,099	98.3
	計	260,000	245,737,081	94.5
令和3年度	一般会費	218,000	211,046,444	97.3
	法人会費	32,000	29,706,915	92.8
	計	250,000	241,753,359	96.7
令和4年度	一般会費	218,000	179,439,942	82.3
	法人会費	32,000	35,173,601	109.9
	計	250,000	214,613,543	85.8

## (2) 令和4年度地区・分区分別社資納入状況一覧表 (対社資目標額比較)

地区・分区分	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
<b>鹿児島市</b>	<b>91,009,500</b>	<b>61,557,661</b>	<b>67.6%</b>
鹿児島地域	84,728,500	56,824,301	67.1%
吉田地域	1,423,500	765,450	53.8%
桜島地域	447,000	594,500	133.0%
松元地域	2,021,000	1,020,160	50.5%
郡山地域	927,500	828,200	89.3%
喜入地域	1,462,000	1,525,050	104.3%
<b>鹿屋市</b>	<b>14,761,500</b>	<b>9,791,800</b>	<b>66.3%</b>
鹿屋地域	11,767,500	7,028,299	59.7%
輝北支所	451,500	520,500	115.3%
串良支所	1,689,000	1,567,001	92.8%
吾平支所	853,500	676,000	79.2%
枕崎市	2,949,500	3,047,500	103.3%
阿久根市	2,708,500	3,033,902	112.0%
<b>出水市</b>	<b>7,298,500</b>	<b>6,704,637</b>	<b>91.9%</b>
出水地域	5,091,000	3,956,136	77.7%
野田支所	529,000	972,000	183.7%
高尾野支所	1,678,500	1,776,501	105.8%
<b>指宿市</b>	<b>5,608,500</b>	<b>6,082,837</b>	<b>108.5%</b>
指宿地域	3,677,500	3,621,837	98.5%
山川支所	1,200,000	1,514,000	126.2%
開開支所	731,000	947,000	129.5%
西之表市	2,211,000	1,733,473	78.4%
垂水市	2,060,000	2,669,200	129.6%
<b>薩摩川内市</b>	<b>13,174,000</b>	<b>13,893,474</b>	<b>105.5%</b>
川内分区分	9,800,000	9,907,307	100.8%
樋脇分区分	883,500	922,001	104.4%
入来分区分	654,000	755,000	115.4%
東郷分区分	654,000	897,500	137.2%
祈答院分区分	449,000	602,666	134.2%
上飯分区分	353,500	494,000	139.7%
下飯分区分	350,000	315,000	90.0%
<b>日置市</b>	<b>6,206,000</b>	<b>7,577,064</b>	<b>122.1%</b>
東市来分区分	1,452,000	1,913,001	131.7%
伊集院分区分	3,073,500	3,561,562	115.9%
日吉分区分	616,500	852,000	138.2%
吹上分区分	1,064,000	1,250,501	117.5%
<b>曾於市</b>	<b>4,745,000</b>	<b>5,226,004</b>	<b>110.1%</b>
大隅分区分	1,309,500	1,435,501	109.6%
財部分区分	1,031,000	1,498,501	145.3%
末吉分区分	2,404,500	2,292,002	95.3%
<b>霧島市</b>	<b>18,044,500</b>	<b>14,234,684</b>	<b>78.9%</b>
国分地域	8,395,000	6,039,057	71.9%
隼入分室	5,496,000	3,524,926	64.1%
溝辺分室	1,122,500	1,341,001	119.5%
横川分室	572,500	684,500	119.6%
牧園分室	1,031,500	1,064,700	103.2%
霧島分室	685,500	701,000	102.3%
福山分室	741,500	879,500	118.6%
いちき串木野市	3,815,500	4,264,000	111.8%
<b>南さつま市</b>	<b>4,536,500</b>	<b>6,133,068</b>	<b>135.2%</b>
加世田地域	2,808,000	3,520,157	125.4%
笠沙支所	328,000	503,910	153.6%
大浦支所	251,500	432,000	171.8%
坊津支所	387,000	531,000	137.2%
金峰支所	762,000	1,146,001	150.4%
<b>志布志市</b>	<b>4,260,000</b>	<b>4,275,727</b>	<b>100.4%</b>
志布志地域	2,362,000	2,584,327	109.4%
松山支所	513,000	594,000	115.8%
有明支所	1,385,000	1,097,400	79.2%
<b>奄美市</b>	<b>6,385,500</b>	<b>3,418,061</b>	<b>53.5%</b>
名瀬地域	5,589,000	2,361,561	42.3%
笠利分区分	796,500	1,056,500	132.6%
<b>南九州市</b>	<b>4,606,500</b>	<b>5,843,400</b>	<b>126.9%</b>
川辺分区分	1,496,000	2,169,000	145.0%
知覧分区分	1,478,000	1,848,000	125.0%
顕娃分区分	1,632,500	1,826,400	111.9%

地区・分区分	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
<b>伊佐市</b>	<b>3,616,000</b>	<b>4,438,153</b>	<b>122.7%</b>
大口分区分	2,585,000	3,280,952	126.9%
菱刈地域	1,031,000	1,157,201	112.2%

地区・分区分	社資目標額(円)	納入額(円)	達成率(%)
<b>姶良市</b>	<b>10,591,000</b>	<b>6,536,418</b>	<b>61.7%</b>
姶良地域	6,750,500	2,759,744	40.9%
加治木支所	3,018,500	2,728,173	90.4%
蒲生支所	822,000	1,048,501	127.6%
<b>小計</b>	<b>208,587,500</b>	<b>170,461,063</b>	<b>81.7%</b>

三島村	61,000	85,000	139.3%
十島村	118,000	131,500	111.4%
<b>小計</b>	<b>179,000</b>	<b>216,500</b>	<b>120.9%</b>

さつま町	2,892,000	3,585,500	124.0%
<b>小計</b>	<b>2,892,000</b>	<b>3,585,500</b>	<b>124.0%</b>

長島町	1,270,000	1,684,960	132.7%
<b>小計</b>	<b>1,270,000</b>	<b>1,684,960</b>	<b>132.7%</b>

湧水町	1,294,000	1,580,500	122.1%
<b>小計</b>	<b>1,294,000</b>	<b>1,580,500</b>	<b>122.1%</b>

大崎町	1,853,500	1,662,501	89.7%
<b>小計</b>	<b>1,853,500</b>	<b>1,662,501</b>	<b>89.7%</b>

東串良町	902,000	1,027,260	113.9%
錦江町	975,000	1,363,000	139.8%
南大隅町	970,500	1,312,500	135.2%
肝付町	1,990,000	2,658,904	133.6%
<b>小計</b>	<b>4,837,500</b>	<b>6,361,664</b>	<b>131.5%</b>

中種子町	1,137,000	1,200,000	105.5%
南種子町	856,000	618,500	72.3%
屋久島町	1,875,500	2,731,920	145.7%
<b>小計</b>	<b>3,868,500</b>	<b>4,550,420</b>	<b>117.6%</b>

大和村	222,500	314,000	141.1%
宇檢村	243,000	513,650	211.4%
瀬戸内町	1,339,000	1,143,438	85.4%
龍郷町	830,500	1,196,145	144.0%
喜界町	1,005,000	1,232,000	122.6%
徳之島町	1,504,500	2,014,501	133.9%
天城町	793,500	1,146,000	144.4%
伊仙町	863,500	770,000	89.2%
和泊町	900,500	1,013,500	112.5%
知名町	839,500	1,068,500	127.3%
与論町	676,500	1,051,300	155.4%
<b>小計</b>	<b>9,218,000</b>	<b>11,463,034</b>	<b>124.4%</b>

市地区計	208,587,500	170,461,063	81.7%
郡地区計	25,412,500	31,105,079	122.4%
<b>市郡地区計</b>	<b>234,000,000</b>	<b>201,566,142</b>	<b>86.1%</b>

支部	13,047,401
地区DM	29,893,021
地区送納書	169,049,821
本社	2,623,300
<b>合計</b>	<b>214,613,543</b>

(3) 令和4年度地区・分区分社資納入状況一覧表 (対前年度比較)

地区・分区分	令和4年度(円)	令和3年度(円)	対前年(%)
<b>鹿児島市</b>	<b>61,557,661</b>	<b>44,966,583</b>	<b>136.9%</b>
鹿児島地域	56,824,301	39,813,523	142.7%
吉田地域	765,450	1,265,650	60.5%
桜島地域	594,500	593,000	100.3%
松元地域	1,020,160	952,610	107.1%
郡山地域	828,200	818,200	101.2%
喜入地域	1,525,050	1,523,600	100.1%
<b>鹿屋市</b>	<b>9,791,800</b>	<b>14,140,943</b>	<b>69.2%</b>
鹿屋地域	7,028,299	11,412,942	61.6%
輝北支所	520,500	539,000	96.6%
串良支所	1,567,001	1,519,501	103.1%
吾平支所	676,000	669,500	101.0%
枕崎市	3,047,500	3,095,532	98.4%
阿久根市	3,033,902	3,114,302	97.4%
<b>出水市</b>	<b>6,704,637</b>	<b>7,124,254</b>	<b>94.1%</b>
出水地域	3,956,136	4,040,752	97.9%
野田支所	972,000	982,000	99.0%
高尾野支所	1,776,501	2,101,502	84.5%
<b>指宿市</b>	<b>6,082,837</b>	<b>6,788,056</b>	<b>89.6%</b>
指宿地域	3,621,837	4,029,700	89.9%
山川支所	1,514,000	1,795,656	84.3%
開開支所	947,000	962,700	98.4%
西之表市	1,733,473	1,781,018	97.3%
垂水市	2,669,200	2,780,300	96.0%
<b>薩摩川内市</b>	<b>13,893,474</b>	<b>13,816,801</b>	<b>100.6%</b>
川内分区分	9,907,307	9,693,900	102.2%
樋脇分区分	922,001	945,001	97.6%
入来分区分	755,000	801,500	94.2%
東郷分区分	897,500	905,000	99.2%
祈答院分区分	602,666	611,500	98.6%
上飯分区分	494,000	514,400	96.0%
下飯分区分	315,000	345,500	91.2%
<b>日置市</b>	<b>7,577,064</b>	<b>7,721,712</b>	<b>98.1%</b>
東市来分区分	1,913,001	1,961,301	97.5%
伊集院分区分	3,561,562	3,599,411	98.9%
日吉分区分	852,000	864,000	98.6%
吹上分区分	1,250,501	1,297,000	96.4%
<b>曾於市</b>	<b>5,226,004</b>	<b>5,411,503</b>	<b>96.6%</b>
大隅分区分	1,435,501	1,490,500	96.3%
財部分区分	1,498,501	1,498,501	100.0%
末吉分区分	2,292,002	2,422,502	94.6%
<b>霧島市</b>	<b>14,234,684</b>	<b>14,697,202</b>	<b>96.9%</b>
国分地域	6,039,057	5,952,821	101.4%
隼入分室	3,524,926	3,542,802	99.5%
溝辺分室	1,341,001	1,351,871	99.2%
横川分室	684,500	767,648	89.2%
牧園分室	1,064,700	1,086,560	98.0%
霧島分室	701,000	1,098,500	63.8%
福山分室	879,500	897,000	98.0%
いちき串木野市	4,264,000	4,297,000	99.2%
<b>南さつま市</b>	<b>6,133,068</b>	<b>6,252,875</b>	<b>98.1%</b>
加世田地域	3,520,157	3,593,704	98.0%
笠沙支所	503,910	533,600	94.4%
大浦支所	432,000	423,470	102.0%
坊津支所	531,000	558,500	95.1%
金峰支所	1,146,001	1,143,601	100.2%
<b>志布志市</b>	<b>4,275,727</b>	<b>4,034,670</b>	<b>106.0%</b>
志布志地域	2,584,327	1,865,169	138.6%
松山支所	594,000	696,000	85.3%
有明支所	1,097,400	1,473,501	74.5%
<b>奄美市</b>	<b>3,418,061</b>	<b>2,443,840</b>	<b>139.9%</b>
名瀬地域	2,361,561	1,324,023	178.4%
笠利分区分	1,056,500	1,119,817	94.3%
<b>南九州市</b>	<b>5,843,400</b>	<b>7,996,900</b>	<b>73.1%</b>
川辺分区分	2,169,000	2,158,500	100.5%
知覧分区分	1,848,000	3,889,500	47.5%
頰娃分区分	1,826,400	1,948,900	93.7%

地区・分区分	令和4年度(円)	令和3年度(円)	対前年(%)
<b>伊佐市</b>	<b>4,438,153</b>	<b>4,427,053</b>	<b>100.3%</b>
大口分区分	3,280,952	3,248,652	101.0%
菱刈地域	1,157,201	1,178,401	98.2%

地区・分区分	令和4年度(円)	令和3年度(円)	対前年(%)
<b>姶良市</b>	<b>6,536,418</b>	<b>8,508,069</b>	<b>76.8%</b>
姶良地域	2,759,744	2,926,175	94.3%
加治木支所	2,728,173	4,534,852	60.2%
蒲生支所	1,048,501	1,047,042	100.1%
<b>小計</b>	<b>170,461,063</b>	<b>163,398,613</b>	<b>104.3%</b>

三島村	85,000	81,560	104.2%
十島村	131,500	80,492	163.4%
<b>小計</b>	<b>216,500</b>	<b>162,052</b>	<b>133.6%</b>

さつま町	3,585,500	3,717,003	96.5%
<b>小計</b>	<b>3,585,500</b>	<b>3,717,003</b>	<b>96.5%</b>

長島町	1,684,960	1,781,002	94.6%
<b>小計</b>	<b>1,684,960</b>	<b>1,781,002</b>	<b>94.6%</b>

湧水町	1,580,500	1,585,501	99.7%
<b>小計</b>	<b>1,580,500</b>	<b>1,585,501</b>	<b>99.7%</b>

大崎町	1,662,501	1,707,501	97.4%
<b>小計</b>	<b>1,662,501</b>	<b>1,707,501</b>	<b>97.4%</b>

東串良町	1,027,260	1,070,277	96.0%
錦江町	1,363,000	1,400,000	97.4%
南大隅町	1,312,500	1,362,600	96.3%
肝付町	2,658,904	6,768,736	39.3%
<b>小計</b>	<b>6,361,664</b>	<b>10,601,613</b>	<b>60.0%</b>

中種子町	1,200,000	1,248,500	96.1%
南種子町	618,500	554,100	111.6%
屋久島町	2,731,920	2,287,150	119.4%
<b>小計</b>	<b>4,550,420</b>	<b>4,089,750</b>	<b>111.3%</b>

大和村	314,000	334,000	94.0%
宇檢村	513,650	527,800	97.3%
瀬戸内町	1,143,438	771,918	148.1%
龍郷町	1,196,145	765,525	156.3%
喜界町	1,232,000	1,259,100	97.8%
徳之島町	2,014,501	2,061,540	97.7%
天城町	1,146,000	1,139,800	100.5%
伊仙町	770,000	737,350	104.4%
和泊町	1,013,500	1,036,100	97.8%
知名町	1,068,500	1,106,800	96.5%
与論町	1,051,300	791,000	132.9%
<b>小計</b>	<b>11,463,034</b>	<b>10,530,933</b>	<b>108.9%</b>

市地区計	170,461,063	163,398,613	104.3%
郡地区計	31,105,079	34,175,355	91.0%
<b>市郡地区計</b>	<b>201,566,142</b>	<b>197,573,968</b>	<b>102.0%</b>

支部	13,047,401	44,178,491	29.5%
地区DM	29,893,021	25,930,767	115.3%
地区送納書	169,049,821	169,329,381	99.8%
本社	2,623,300	2,314,720	113.3%
<b>合計</b>	<b>214,613,543</b>	<b>241,753,359</b>	<b>88.8%</b>

(4) 令和4年度地区・分區別会員募集実績前年対比一覽表

	種類別内訳					法人 B	令和4年度 件数 A+B=C	令和3年度 件数 D	増減 C-D
	個人								
	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上 10,000円未満	10,000円 以上	計 A				
鹿児島市	42,448	273	189	134	43,044	521	43,565	47,132	-3,567
鹿児島地域	36,499	257	183	126	37,065	514	37,579	40,667	-3,088
吉田地域	1,030	6	0	2	1,038	1	1,039	1,045	-6
桜島地域	1,078	0	1	0	1,079	0	1,079	1,034	45
松元地域	862	0	0	0	862	3	865	1,057	-192
郡山地域	1,116	3	3	0	1,122	3	1,125	1,211	-86
喜入地域	1,863	7	2	6	1,878	0	1,878	2,118	-240
鹿屋市	14,396	138	47	22	14,603	64	14,667	15,222	-555
鹿屋地域	9,175	138	47	19	9,379	56	9,435	9,889	-454
輝北支所	1,021	0	0	0	1,021	1	1,022	1,059	-37
串良支所	2,938	0	0	1	2,939	5	2,944	2,992	-48
吾平支所	1,262	0	0	2	1,264	2	1,266	1,282	-16
枕崎市	5,596	21	7	2	5,626	23	5,649	5,718	-69
阿久根市	5,767	0	2	3	5,772	9	5,781	5,914	-133
出水市	11,083	253	15	17	11,368	43	11,411	11,566	-155
出水地域	6,648	159	14	11	6,832	28	6,860	6,912	-52
野田支所	1,226	87	1	3	1,317	6	1,323	1,365	-42
高尾野支所	3,209	7	0	3	3,219	9	3,228	3,289	-61
指宿市	10,273	176	25	10	10,484	22	10,506	10,851	-345
指宿地域	5,651	64	22	7	5,744	22	5,766	5,954	-188
山川支所	2,728	112	3	3	2,846	0	2,846	2,974	-128
開聞支所	1,894	0	0	0	1,894	0	1,894	1,923	-29
西之表市	2,946	43	2	3	2,994	8	3,002	3,036	-34
垂水市	5,058	0	3	1	5,062	8	5,070	5,206	-136
薩摩川内市	24,969	82	11	21	25,083	70	25,153	24,729	424
川内分区	17,471	0	6	15	17,492	65	17,557	16,921	636
樋脇分区	1,696	14	1	4	1,715	0	1,715	1,767	-52
入来分区	1,456	1	1	0	1,458	3	1,461	1,510	-49
東郷分区	1,727	21	0	1	1,749	1	1,750	1,762	-12
祁答院分区	1,100	2	2	1	1,105	1	1,106	1,144	-38
上甕分区	899	41	0	0	940	0	940	949	-9
下甕分区	620	3	1	0	624	0	624	676	-52
日置市	14,701	61	16	7	14,785	0	14,785	15,058	-273
東市来分区	3,761	2	0	2	3,765	0	3,765	3,875	-110
伊集院分区	6,773	54	12	5	6,844	0	6,844	6,888	-44
日吉分区	1,696	4	0	0	1,700	0	1,700	1,722	-22
吹上分区	2,471	1	4	0	2,476	0	2,476	2,573	-97
曾於市	9,370	95	22	4	9,491	16	9,507	9,872	-365
大隅分区	2,733	41	1	1	2,776	2	2,778	2,852	-74
財部分区	2,521	0	10	2	2,533	8	2,541	2,633	-92
末吉分区	4,116	54	11	1	4,182	6	4,188	4,387	-199
霧島市	24,484	162	41	17	24,704	51	24,755	24,849	-94
国分地域	9,886	68	18	7	9,979	23	10,002	10,125	-123
隼人分室	6,303	43	13	7	6,366	13	6,379	6,184	195
溝辺分室	2,182	0	3	2	2,187	8	2,195	2,255	-60
横川分室	1,321	6	2	0	1,329	2	1,331	1,362	-31
牧園分室	1,901	43	2	1	1,947	2	1,949	1,993	-44
霧島分室	1,168	2	1	0	1,171	2	1,173	1,167	6
福山分室	1,723	0	2	0	1,725	1	1,726	1,763	-37
いちき串木野市	7,503	394	5	1	7,903	1	7,904	7,944	-40
南さつま市	8,369	1,411	12	5	9,797	43	9,840	10,147	-307
加世田地域	3,924	1,160	2	4	5,090	33	5,123	5,205	-82
笠沙支所	666	143	3	0	812	0	812	861	-49
大浦支所	681	58	4	0	743	3	746	772	-26
坊津支所	984	39	0	0	1,023	0	1,023	1,078	-55
金峰支所	2,114	11	3	1	2,129	7	2,136	2,231	-95
志布志市	7,103	21	13	6	7,143	53	7,196	6,795	401
志布志地域	3,965	6	5	4	3,980	52	4,032	3,232	800
松山支所	1,046	10	3	0	1,059	1	1,060	1,204	-144
有明支所	2,092	5	5	2	2,104	0	2,104	2,359	-255
奄美市	2,766	10	30	4	2,810	67	2,877	2,895	-18
名瀬地域	902	10	29	3	944	63	1,007	880	127
笠利分区	1,864	0	1	1	1,866	4	1,870	2,015	-145

(4) 令和4年度地区・分區別会員募集実績前年対比一覽表

	種類別内訳						令和4年度 件数	令和3年度 件数	増減
	個人					法人			
	500円以上 1,000円未満	1,000円以上 2,000円未満	2,000円以上 10,000円未満	10,000円 以上	計 A				
A+B=C	D	C-D							
南九州市	8,202	827	5	4	9,038	4	9,042	9,400	-358
川辺分区	4,278	0	0	1	4,279	0	4,279	4,292	-13
知覧分区	3,372	1	0	3	3,376	4	3,380	3,440	-60
顯娃分区	552	826	5	0	1,383	0	1,383	1,668	-285
伊佐市	7,204	197	4	3	7,408	16	7,424	7,590	-166
大口分区	2,106	85	1	0	2,192	0	2,192	5,376	-3,184
菱刈地域	5,098	112	3	3	5,216	16	5,232	2,214	3,018
始良市	8,338	410	23	9	8,780	24	8,804	9,414	-610
始良地域	3,007	341	16	3	3,367	11	3,378	3,588	-210
加治木支所	3,432	69	7	5	3,513	13	3,526	3,849	-323
蒲生支所	1,899	0	0	1	1,900	0	1,900	1,977	-77
小計	220,576	4,574	472	273	225,895	1,043	226,938	233,338	-6,400
三島村	34	59	3	0	96	1	97	90	7
十島村	26	64	9	0	99	5	104	70	34
小計	60	123	12	0	195	6	201	160	41
さつま町	6,674	99	4	7	6,784	9	6,793	6,766	27
小計	6,674	99	4	7	6,784	9	6,793	6,766	27
長島町	2,887	0	0	0	2,887	6	2,893	2,909	-16
小計	2,887	0	0	0	2,887	6	2,893	2,909	-16
湧水町	3,161	0	0	0	3,161	0	3,161	3,171	-10
小計	3,161	0	0	0	3,161	0	3,161	3,171	-10
大崎町	2,817	242	1	1	3,061	0	3,061	3,158	-97
小計	2,817	242	1	1	3,061	0	3,061	3,158	-97
東串良町	1,738	7	0	0	1,745	16	1,761	1,823	-62
錦江町	2,706	0	0	1	2,707	0	2,707	2,800	-93
南大隅町	2,625	0	0	0	2,625	0	2,625	2,285	340
肝付町	4,698	47	3	0	4,748	18	4,766	4,924	-158
小計	11,767	54	3	1	11,825	34	11,859	11,832	27
中種子町	2,279	0	0	0	2,279	4	2,283	70	2,213
南種子町	1,001	3	1	1	1,006	4	1,010	1,053	-43
屋久島町	4,061	21	14	0	4,096	3	4,099	4,073	26
小計	7,341	24	15	1	7,381	11	7,392	5,196	2,196
大和村	528	0	0	0	528	1	529	569	-40
宇検村	638	29	1	1	669	2	671	690	-19
瀬戸内町	1,747	25	2	1	1,775	27	1,802	1,375	427
龍郷町	2,170	1	0	0	2,171	3	2,174	1,511	663
喜界町	2,246	2	0	0	2,248	11	2,259	2,270	-11
徳之島町	2,256	35	5	4	2,300	52	2,352	2,351	1
天城町	1,540	2	1	0	1,543	58	1,601	1,587	14
伊仙町	1,140	42	1	0	1,183	2	1,185	1,193	-8
和泊町	1,759	48	4	0	1,811	1	1,812	1,863	-51
知名町	2,025	6	0	0	2,031	1	2,032	2,099	-67
与論町	1,692	2	0	0	1,694	2	1,696	1,573	123
小計	17,741	192	14	6	17,953	160	18,113	17,081	1,032
市地区計	220,576	4,574	472	273	225,895	1,043	226,938	233,338	-6,400
郡地区計	52,448	734	49	16	53,247	226	53,473	50,273	3,200
地区分区計	273,024	5,308	521	289	279,142	1,269	280,411	283,611	-3,200
支部	59	70	267	89	485	228	713	1,096	-383
合計	273,083	5,378	788	378	279,627	1,497	281,124	284,707	-3,583

## (5) 令和4年度赤十字会員増強運動功労表彰

12月末までに会費募集目標額を達成し、さらに次の基準を満たす地区・分区・支所等を支部長名で表彰した。

(1) 当年度の会費等実績額が前年度実績の102%以上を達成した地区・分区・支所等

管内	地区・分区名	件数
市地区	南さつま市地区(大浦支所)	1
鹿児島地区	三島村分区、十島村分区	2
大島地区	龍郷町分区、与論町分区	2
合計		5

(2) その他特に会員募集及び会費等募集に顕著な功績があった地区・分区・支所等

※1,000円以上10,000円未満募集目標件数と法人会員目標件数をそれぞれ110%以上達成し、さらに会費目標額を125%以上達成

管内	地区・分区名	件数
市地区	出水市地区(野田支所)、南さつま市地区(大浦支所)	2(1)
合計		2(1)

件数欄の( )内は、再掲。

(6) 過去5カ年間の種別会員数の推移

種別	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)	件数(件)	増減(件)
個人	500円以上 1,000円未満	303,246	△ 12,122	296,482	△ 6,764	285,400	△ 11,082	275,923	△ 9,477	273,083	△ 2,840
	1,000円以上	9,078	△ 715	8,527	△ 551	7,913	△ 614	7,287	△ 626	6,544	△ 743
	小計	312,324	△ 12,837	305,009	△ 7,315	293,313	△ 11,696	283,210	△ 10,103	279,627	△ 3,583
法人		1,346	13	1,367	21	1,539	△ 172	1,497	42	1,497	△ 0
合計		313,670	△ 12,824	306,376	△ 7,294	294,852	△ 11,524	284,707	△ 10,145	281,124	△ 3,583

(7) 令和4年度一般社資金額別内訳一覧表

1件あたり金額	内訳	一般社資		個人住民税に関する 指定事業社資		合計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	2	3,000,000	0	0	2	3,000,000
2	50万円以上 100万円未満	6	3,010,000	1	500,000	7	3,510,000
3	20万円以上 50万円未満	6	1,815,368	0	0	6	1,815,368
4	10万円以上 20万円未満	12	1,272,555	3	300,000	15	1,572,555
5	5万円以上 10万円未満	26	1,393,640	0	0	26	1,393,640
6	3万円以上 5万円未満	36	1,132,629	0	0	36	1,132,629
7	1万円以上 3万円未満	281	3,331,198	5	100,000	286	3,431,198
8	5千円以上 1万円未満	261	1,556,018	0	0	261	1,556,018
9	1千円以上 5千円未満	5,905	6,680,869	0	0	5,905	6,680,869
10	500円以上 1千円未満	273,083	136,503,920	0	0	273,083	136,503,920
11	500円未満	88,854	18,843,745	0	0	88,854	18,843,745
社資合計		368,472	178,539,942	9	900,000	368,481	179,439,942

(8) 令和4年度法人社資金額別内訳一覧表

1件あたり金額	内訳	指定事業社資		その他法人社資		合計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
1	100万円以上	0	0	3	12,000,000	3	12,000,000
2	50万円以上 100万円未満	1	500,000	3	1,500,000	4	2,000,000
3	20万円以上 50万円未満	2	500,000	8	1,984,247	10	2,484,247
4	10万円以上 20万円未満	8	800,000	36	3,926,486	44	4,726,486
5	5万円以上 10万円未満	0	0	67	3,595,512	67	3,595,512
6	2万円以上 5万円未満	0	0	47	1,453,144	47	1,453,144
7	1万円以上 2万円未満	0	0	596	6,498,693	596	6,498,693
8	5千円以上 1万円未満	0	0	325	1,669,888	325	1,669,888
9	1千円以上 5千円未満	0	0	341	710,713	341	710,713
10	500円以上 1千円未満	0	0	35	25,325	35	25,325
11	500円未満	0	0	25	9,593	25	9,593
合計		11	1,800,000	1,486	33,373,601	1,497	35,173,601

(9) 日本赤十字社有功章等表彰受彰(章)者(社)名簿

※敬称略、順不同

◎日本赤十字社の表彰(章)

日本赤十字社感謝状 13件(不掲載希望者 1件含む)

- ・齊藤 一雄(鹿児島市)
- ・藤岡 義道(指宿市)
- ・弓場 秋信(鹿児島市)
- ・寶來 弘子(鹿児島市)
- ・新村 順一郎(肝属郡肝付町)
- ・水流 國大(鹿児島市)
- ・土元 輝代(鹿児島市)
- ・川畑 俊彦(鹿児島市)
- ・大福コンサルタント 株式会社(鹿児島市)
- ・鎌田建設 株式会社(霧島市)
- ・株式会社 甲斐商店(伊佐市)
- ・鹿児島信用金庫(鹿児島市)

金色有功章 9件(不掲載希望者 1件含む)

- ・前田 芳夫(鹿児島市)
- ・濱脇 義臣(鹿児島市)
- ・医療法人春風会 田上記念病院(鹿児島市)
- ・鹿児島市管工事協同組合(鹿児島市)
- ・有限会社 中村酒造場(霧島市)
- ・村上建設 株式会社(奄美市)
- ・徳之島総合陸運(大島郡徳之島町)
- ・南九州日野自動車 株式会社(鹿児島市)

銀色有功章 29件(不掲載希望者 1件を含む)

- ・上原 徹(鹿児島市)
- ・宮元 勝(鹿児島市)
- ・大田 正隆(出水市)
- ・片平 豊(指宿市)
- ・寺内 秀昭(熊毛郡南種子町)
- ・村尾 實(薩摩川内市)
- ・重久 和也(霧島市)
- ・川添 康宏(霧島市)

- ・久保 陸生（伊佐市）
- ・堂崎 光男（出水市）
- ・川畑建設 株式会社（大島郡与論町）
- ・竹山建設 株式会社（奄美市）
- ・有限会社 大黒自動車部品商会（鹿児島市）
- ・つかさとクリニック（出水市）
- ・南栄建設 株式会社（奄美市）
- ・株式会社 ヨコハマ工販（鹿児島市）
- ・村商 株式会社（肝属郡肝付町）
- ・株式会社 久保技建（鹿児島市）
- ・株式会社 グリーンテック（奄美市）
- ・公益社団法人 鹿児島県宅地建物取引業協会（鹿児島市）
- ・九州南部たばこ販売協同組合連合会（鹿児島市）
- ・株式会社 新留土木（鹿児島市）
- ・おとなとこどもの整形外科おけたにクリニック（鹿児島市）
- ・九州化工 株式会社（鹿屋市）
- ・株式会社 中村建設（奄美市）
- ・株式会社 大和建设（大島郡大和村）
- ・久保建設工業 株式会社（大島郡伊仙町）
- ・株式会社 大久保商事（奄美市）

## 10 医 療 事 業

鹿児島赤十字病院は、公的病院として地域医療の進展に貢献していくため、一般病床120床をベースに災害時の医療救護、離島・へき地医療への取り組みはもとより、リウマチ・膠原病、関節・脊椎整形外科領域を主とする急性期医療など、各診療科領域において、適切な医療の提供に取り組み、その使命と役割を果たしている。



これらの医療活動を円滑に展開していくため、医師・看護師等人材の確保や医療機器・設備の改善とともに地域医療連携の一層の推進等を図りつつ、平均在院日数の短縮、病床稼働率の改善・向上など引き続き経営収支の改善と安定化に取り組むこととともに、医療サービスの質的向上・効率的提供や患者サービスの向上に努めた。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応については、鹿児島県の要請により令和2年7月7日より新型コロナウイルス感染患者の受入れを開始した。令和4年度は、199人の患者を受入れ、令和5年3月31日までに累計延べ388人を受け入れた。現在も継続して患者の受入れ及び入院調整を行う鹿児島県広域医療調整チームへの医師派遣を行っている。

### (1) 一 般 医 療

ア 診療科目 9診療科

[内科・リウマチ科・循環器内科・呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科]

イ 診療日 月曜日～金曜日（緊急時はこの限りではありません）

ウ 診療実績

#### ① 入院患者数

鹿児島赤十字病院は、昭和55年以降、結核病床主体から一般病床へのシフト化とともに、特定疾患としてリウマチ膠原病や骨粗しょう症、生活習慣病対策に組み込み、更に、関節・脊椎を主体とする整形外科を導入するなど予防・診断・治療からリハビリテーションまでの包括的医療体制を整備してきた結果、一般患者の診療圏が県内全域に及ぶようになった。

更に、平成15年7月に脳神経外科、平成16年3月には麻酔科、平成25年1月には循環器内科を設置し、診療活動の拡充に努めている。

なお、令和4年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う影響もあり入院患者延数は26,080人で、前年度より1,807人少なく、病床稼働率4.2%減となった。

[診療科別入院患者数]

(単位：人)

区 分	令和4年度				令和3年度				比較(R4-R3)		
	在院延数	退院	患者延数 [在院+退院]	1日平均 患者数	在院延数	退院	患者延数 [在院+退院]	1日平均 患者数	在院延数	患者延数 [在院+退院]	1日平均 患者数
内 科	2,468	180	2,648	7.3	1,775	159	1,934	5.3	693	714	2.0
リウマチ科	8,619	649	9,268	25.4	9,146	626	9,772	26.8	Δ527	Δ504	Δ1.4
整形外科	13,507	657	14,164	38.8	13,296	632	13,928	38.2	211	236	0.6
脳神経外科					2,103	150	2,253	6.2	Δ2,103	Δ2,253	Δ6.2
合 計	24,594	1,486	26,080	71.5	26,320	1,567	27,887	76.4	Δ1,726	Δ1,807	Δ4.9
			病床稼働率	59.5%			病床稼働率	63.7%		病床稼働率	Δ4.2%

② 外来患者数

外来患者数は、36,449人で、前年度より457人多い1.3%増となった。  
〔診療科別外来患者数〕 (単位：人)

区 分	令和4年度	令和3年度	比較(R4-R3)	
			増減(人)	前年比(%)
内 科	5,531	5,361	170	103.2
リウマチ科	16,249	15,543	706	104.5
整形外科	10,663	10,281	382	103.7
呼吸器内科	498	435	63	114.5
脳神経外科	2,360	3,139	△779	75.2
循環器内科	1,148	1,233	△85	93.1
合 計	36,449	35,992	457	101.3

【参考】市町村別入院・外来患者数

(単位：人)

市町村	患者数		市町村	患者数		市町村	患者数	
	入院	外来		入院	外来		入院	外来
鹿児島市	12,619	20,629	奄美市	175	6	南種子町	103	28
鹿屋市	271	392	南九州市	1,377	3,219	屋久島町	181	45
枕崎市	762	1,293	伊佐市	37	64	大和村	0	0
阿久根市	74	151	始良市	607	330	宇検村	26	7
出水市	125	158	三島村	2	21	瀬戸内町	0	7
指宿市	1,979	4,189	十島村	152	79	龍郷町	0	5
西之表市	252	151	さつま町	310	132	喜界町	157	12
垂水市	391	198	長島町	362	51	徳之島町	0	5
薩摩川内市	776	698	湧水町	0	26	天城町	8	11
日置市	456	939	大崎町	33	48	伊仙町	0	8
曾於市	180	37	東串良町	32	4	和泊町	17	20
霧島市	630	290	錦江町	0	23	知名町	29	16
いちき串木野市	771	561	南大隅町	31	36	与論町	96	4
南さつま市	913	2,074	肝付町	45	67	県 外	248	283
志布志市	111	71	中種子町	256	61	計	24,594	36,449

※入院患者数は在院延数で記載

③実習生受け入れ状況

受入担当部	期間	実習生数	実習項目	実習依頼校
整形外科部	第2・4週目の水曜日	5名	ポリクリ実習	鹿児島大学医学部5年・6年生
リハビリテーション科	5/9～7/1	2名	総合臨床実習Ⅱ	鹿児島大学医学部保健学科
	7/25～9/2	2名	総合臨床実習Ⅲ	理学療法学専攻4年
	8/16～9/25	2名	長期臨床実習	鹿児島大学医学部保健学科 作業療法学専攻4年
	3/20～3/24	2名	臨床評価実習	鹿児島大学医学部保健学科
	3/28～3/31	2名		作業療法学専攻3年
看護部	6/20～7/6	4名	基礎看護学実習Ⅱ	医療法人協会立看護専門学校
	6/27～7/14	5名	成人・老年看護臨地実習	鳳凰高校専門課程2年生
	7/8～7/8	5名	基礎看護学実習Ⅰ-①	医療法人協会立看護専門学校
	8/29～9/16	5名	統合実習	鹿児島医療技術専門学校4年生
	10/3～10/14	5名	成人・老年看護臨地実習	鳳凰高校専門課程2年生
	10/3～10/19	5名	成人看護学実習Ⅱ	医療法人協会立看護専門学校3年生
	10/31～11/18	5名	成人・老年看護学実習Ⅰ	鹿児島医療技術専門学校3年生
	11/21～12/9	5名	成人・老年看護学実習Ⅰ	鹿児島医療技術専門学校3年生
地域医療連携室	7/12	7名	ソーシャルワーク実習入門見学実習	鹿児島国際大学2年生
	8/8～9/8	2名	ソーシャルワーク実習	鹿児島国際大学3年生
	2/6～2/10	1名	ソーシャルワーク実習Ⅰ	鹿児島国際大学2年生

## (2) 医療救護活動

赤十字病院の特徴として、台風や地震などの災害、事故などへの災害救護活動を使命としており、災害拠点病院及びDMAT指定病院に指定されている。

災害発生度の高い本県の気象条件、地理的特徴に鑑み、災害時に医師・看護師等を速やかに派遣し、その機能が十分発揮できるよう、常備救護班の整備や災害救護訓練に積極的に参加するなど、緊急時に備えるとともに、発災時には積極的な医療救護班の派遣に努めている。

令和4年度の下記訓練・研修については、コロナ禍ではあったが、例年どおりの開催となった。

### ア 医療救護活動

期日	日数	場所	内容	派遣職員
R4年度分	延118	鹿児島県庁	鹿児島県広域医療調整チーム活動	医師1名
8月20日	1	鹿児島港本港区	錦江湾サマーナイト大花火大会救護	5名(医師1、看護師3、主事1)
3月5日	1	鹿児島市	鹿児島マラソン2023救護	4名(医師1、看護師3)

### イ 災害救護訓練・研修

期日	日数	場所	内容	派遣職員
6月25日	1	鹿児島赤十字病院	救護看護師としてのフォローアップ研修①	受講者12名
7月9日	1	鹿児島赤十字病院	救護看護師としてのフォローアップ研修②	受講者12名
8月19日	1	鹿児島赤十字病院	こころのケア研修会	6名、受講者13名
9月9日	1	鹿児島市	鹿児島市多数傷病者事故対応訓練	5名(医師1、看護師3、主事1)
10月27日	1	霧島市	鹿児島空港航空機事故対応総合訓練	6名(医師1、看護師3、主事2)
11月中	1	日赤県支部	救護員基礎研修(1日目)eラーニング	受講者14名
11月3日～4日	2	福岡県	九州ブロック支部合同災害救護訓練	支部職員3名
11月4日	1	鹿児島市	鹿児島県総合防災訓練(本部運営訓練)	1名(医師1)
11月5日	1	志布志市	鹿児島県総合防災訓練	6名(医師1、看護師3、主事2)
11月19日	1	鹿児島市	桜島火山爆発総合防災訓練(住民避難訓練)	5名(医師1、看護師3、主事1)
12月3日	1	日赤県支部	救護員基礎研修(2日間)・フォローアップ研修	8名、受講者14名
12月8日～9日	1	京都	原子力災害基礎研修会	講師：医師1名
12月14日～15日	2	日赤本社	原子力災害医療アドバイザー会議	医師1名
1月14日～15日	2	鹿児島市	鹿児島県DMAT隊員養成研修	1名
2月11日	1	日置市他	鹿児島県原子力防災訓練	5名(医師1、看護師3、主事1)

### (3) へき地医療

#### ア へき地医療拠点病院事業

鹿児島赤十字病院は、昭和56年4月1日から鹿児島広域市町村圏のへき地中核病院として県の指定を受け離島・へき地医療に携わってきたが、へき地中核病院の再編成により平成14年7月1日にへき地医療拠点病院として指定を受け県から4人の派遣医師を受け入れ、離島・へき地診療所への医師の派遣及び巡回診療に取り組んでいる。

なお、三島村は平成12年10月から、十島村の上四島は平成14年4月からそれぞれ医師1人を派遣、へき地診療所で対応困難な緊急を要する患者を、ヘリコプター（県消防防災ヘリ等）で搬送する体制にも添乗医師として協力している。併せて、離島職員・患者と当院にいる医師が双方向でやりとりする遠隔医療(TV会議)システムを活用し、迅速な対応に努めている。

へき地医療拠点病院医師派遣事業の一環として、へき地診療所等に代診医師の派遣を行う予定としていたが、令和4年度は、要請がなかったことから実績なし。



離島からの患者ヘリ搬送



遠隔医療(TV会議)システムによる診察

#### 三島村・十島村医師等派遣

地区	診療所数	医師派遣延日数	看護師派遣延日数	延受診者数	医師添乗ヘリコプター急患搬送回数
三島村	4診療所	115.5	8.0	1,445	4回
十島村	7診療所	261.0	32.5	1,835	8回
計	11診療所	376.5	40.5	3,280	12回

#### イ へき地医療拠点病院医師派遣事業（代診医師）

派遣日	派遣先	派遣医師数(人)
	実績なし	

### (4) 保健衛生事業

#### ア 保健衛生事業への協力

##### ①へき地における住民検診・赤十字講習会等

事業名	実施地区	実施人員(人)		対前年比(%)
		令和3年度	令和4年度	
住民健(検)診及び健康診断	三島村(4地区)	467	438	93.8%
	十島村(7地区)			
予防接種	三島村(4地区)	514	1,134	220.6%
	十島村(7地区)			
赤十字救急法講習会及びAED講習	三島村(4地区)	93	104	111.8%
	十島村(7地区)			
特定健康診査	三島村(4地区)	202	219	108.4%
	十島村(7地区)			
計		1,276	1,895	148.5%

②生活習慣病予防健診（単位：人）

年度 種類	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般健診	455	422	339	400	361
人間ドック	69	58	66	64	36
脳ドック	86	73	76	87	0
計	610	553	481	551	397

（５）相談援助・地域連携

ア 相談援助事業

内容	件数	内容	件数
受診・受療に関すること	2,534 件	日常生活に関すること	122 件
経済的問題に関すること	7 件	就労・就学に関すること	4 件
制度活用に関すること	153 件	身元保証・権利擁護に関すること	0 件
入院療養生活に関すること	25 件	死後対応に関すること	3 件
退院支援	1,496 件	その他（IC 同席・合同カンファレンス等）	7 件
在宅療養・介護に関すること	213 件	その他（チーム医療介入者数）	2,793 件
医療者との関係に関すること	0 件		件
家族関係に関すること	17 件	対応患者数	7,554 件

イ 居宅介護支援事業〔ケアプラン作成〕

（単位：件，％）

		ケアプラン作成件数												延件数
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
鹿児島市	令和3年度計	24	21	20	22	20	22	22	23	20	20	19	21	254
	令和4年度計	24	23	24	25	25	25	26	27	28	27	27	27	308
鹿児島市 以外	令和3年度計	2	2	2	2	2	2	3	1	1	1	1	1	20
	令和4年度計	2	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	20
計	令和3年度計	26	23	22	24	24	24	25	24	21	21	20	22	274
	令和4年度計	26	26	26	27	27	27	28	28	29	28	28	28	328
	対前年度比	100.0	113.8	118.2	112.5	122.7	112.5	112.0	116.7	138.1	133.3	140.0	127.3	119.7

## 11 血液事業

令和4年度も、血液事業においては新型コロナウイルス感染症の大きな影響を受け、献血協力への辞退の申し出に伴い移動採血の稼働は困難な状況が続いた。

血液事業は国民の信頼のうえに成り立っている事業であり、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（血液法）」に基づき、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液製剤の供給を使命としている。同法においては、輸血用血液製剤の国内自給を基本理念とし、血液事業の実行にあたっては、国、都道府県及び市町村、採血事業者、血液製剤の製造販売業者等、医療関係者等の各々の役割と責任が明確化されている。

また、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（薬機法）」に基づき、輸血用血液製剤の品質や安全性の確保を行っている。

日本赤十字社では、血液事業の運営体制について血液製剤の更なる「安全性の向上」と「安定供給の確保」、また、国民に信頼される効率的で持続可能な事業運営体制の確立を目的に、平成24年4月より従来の各都道府県の血液センター単位による事業運営体制から全国を7ブロックに分けたブロック単位での広域的な事業運営体制を開始した。これまで九州各県で行っていた献血された血液の検査と輸血用血液製剤の製造は、九州ブロック血液センターで一括して行うこととなった。

献血血液の約半分は輸血用血液製剤として輸血に使用され、残りの約半分は血漿分画製剤という医薬品の原料となる。全国的にみると、輸血用血液製剤の需要としては減少傾向がみられる一方で、血漿分画製剤の原料としての需要は、免疫グロブリン製剤の使用の拡大に伴い、大幅に増大している。鹿児島県では令和4年度の目標献血者数65,888人に対して、63,981人（対前年度比99.1%）の方々から献血のご協力をいただいた。一方で同年度に、鹿児島県内の医療機関に供給された輸血用血液製剤は、200mL献血由来が996本、400mL献血由来が58,993本、成分献血由来が12,903本の合計72,892本（対前年度比101.8%）となった。

鹿児島県赤十字血液センターでは、従来行ってきた若年層を中心とした献血の普及・啓発や献血の社会的重要性の認知度向上に向けた広報活動に加えて、コロナ禍における必要血液量の確保対策として、事業環境の変化を踏まえた献血推進方策の確立や献血予約制の推進を行っている。また、離島を数多く有する血液センターとして、地域の医療機関にとって安心・安全な血液供給体制を築くための努力の継続に加えて、新たな血液製剤発注システムの利用促進や血液製剤の定時配送体制の確立を進めることとしている。

## (1) 供給・採血実績

### ア センター供給本数

(単位:本)

区 分	200mL由来	400mL由来	成分由来	合 計	200mL換算	対前年度比
全血製剤	0	0		0	0	0.0%
赤血球製剤	573	49,382		49,955	99,337	102.4%
血漿製剤	423	9,611	1,936	11,970	27,389	100.2%
血小板製剤			10,967	10,967	108,545	101.7%
合 計	996	58,993	12,903	72,892	235,271	101.8%
構 成 比	1.4%	80.9%	17.7%	100.0%		

※センター供給本数＝血液センター、鹿屋及びび川内出張所の3施設から供給された合計本数

### イ 献血者数

(単位:人)

区 分	200mL	400mL	成 分	合 計
血液センター	48	6,488	8,685	15,221
献血ルーム	107	5,558	8,269	13,934
献血バス	87	34,739	0	34,826
合 計	242	46,785	16,954	63,981
構 成 比	0.4%	73.1%	26.5%	100.0%
対 前 年 度 比	135.2%	100.9%	94.1%	99.1%

## **(2) 供給体制**

医療機関からの血液要請に対して、受注から出庫・供給までの業務が円滑に行われるよう手順の再確認を行い、関連する法令を遵守しつつ、業務が適切に図られるように教育訓練を徹底した。

また、各医療機関との情報交換及び連携強化を図り、确实且つ迅速な供給業務に努めるとともに、供給予測の強化を図り、有効利用の推進及び期限切れの抑制に努めた。

供給体制については、血液センター及び鹿屋・川内両出張所から、品質管理の行き届いた輸血用血液製剤を、鹿児島県内全医療機関に安全・迅速且つ確実に直接供給する体制を強化し定時配送率80%以上の目標値を達成できた。

医療機関からの血液製剤の発注については、令和2年11月から新WEB発注システムの運用が開始され、医療機関のWEB発注システム登録の強化を実施した。令和4年度は医薬情報担当者と協力しWEB発注率90%以上の目標値を3月に達成することができた。

## **(3) 医薬情報活動**

県薬務課及び鹿児島県合同輸血療法委員会と連携し、医療機関の輸血管理部門や輸血実施部門等に対し研修会を実施し、安全な輸血を行うための情報提供及び支援をし、受血者の安全性向上に努めた。

また、主要な医療機関へは院内の輸血療法委員会等に参加し、安定供給にかかる需要動向の把握、医療機関情報を積極的に収集した。

有害事象等の収集に努め、販売後安全管理業務を迅速に行った。

## **(4) 鹿児島県合同輸血療法委員会への協力**

第12回令和4年度鹿児島県合同輸血療法懇話会をオンラインで開催し、事務局として鹿児島県合同輸血療法委員会の世話人会や講師の先生方への働きかけや県内の医療機関へ開催の案内を発送するなど協力した。

## (5) 献 血 推 進

献血の推進は、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、国及び地方公共団体の責務とされ、国及び地方公共団体が、毎年献血推進計画を策定することとなっている。一方、血液センターは、採血事業者として献血受け入れの推進を行わなければならないとされている。

医療に必要な血液の確保は、県民一人ひとりの献血運動に対する理解と協力を支えられているが、特に、少子高齢化が進む中、若年層の献血者確保に重点をおき、三者一体となった推進が必要である。

血液製剤の安定確保のため、400mL献血及び成分献血の推進強化に努めるとともに、県民へ献血思想の普及啓発を図るため、県・市町村献血推進協議会及び各種団体の協力を得て、下記の事業を実施した。

- ◎6月1日 「市町村・保健所献血推進主管課長及び担当者会議」(WEB開催)  
血液製剤の安全性向上と安定供給を図るための基本方針や、最近の献血、輸血用血液製剤の供給状況や安全対策等について説明を行った。
- ◎7月1日 「愛の血液助け合い運動月間」  
～31日 長期休暇などにより学校や企業、団体から献血へのご協力が得られにくい夏季の輸血用血液の安定供給を図るため、厚生労働省・都道府県・日本赤十字社の主催により、毎年7月1日から1か月間にわたり全国各地で献血推進キャンペーンを実施している。  
当県では、7月2日(土)に献血推進街頭キャンペーンを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
- ◎10月21日 「ライオンズクラブ献血推進セミナー」  
献血協力、推進等に大きな役割を果たしていただいている県内ライオンズクラブの役員、会員の方々を中心に更なる血液事業への理解と相互の情報交換を目的とした「献血推進セミナー」を開催した。  
セミナーでは、県内の血液事業について説明を行うとともに、各クラブの活動状況報告等を行い、今後の取組みについて対策等を協議した。

◎12月16日 「学生クリスマス献血キャンペーン2022」

～12月24日 全国学生クリスマス献血キャンペーンの一環として、鹿児島県学生献血推進協議会の主催により、県内5か所（鹿児島大学・鹿児島国際大学・志学館大学・フレスポジャングルパーク・オプシアミスミ）において実施した。協賛企業・団体からのプレゼントによる抽選会、お菓子やドリンクサービスなど献血者が楽しめる企画を展開し、合計271名の協力が得られた。



◎1月1日 「はたちの献血キャンペーン」

～2月28日 成人として社会への第一歩を踏み出そうとしている若い方々を中心に、献血について理解を深めていただき、冬季における輸血用血液の安定供給を図るため、テレビやラジオCM、ポスター掲示等の広報を行うなど、成人の日を含む1月から2月の2カ月間全国的に展開している。

当県では、1月8日（日）天文館ベルク広場において、ライオンズクラブ、学生献血推進協議会等各種団体の協力を得て、街頭キャンペーンを実施した。

◎1月7日 「MBCラジオ献血ウィーク」

～1月18日 年始の献血者確保を目的に、1月の12日間をキャンペーン期間とし、期間中、ラジオでの献血の呼びかけを行った。

1,942名の協力を得られた。

◎3月20日 「μFM春休み献血キャンペーン」

～3月31日 献血者確保が難しくなる年度末に、血液センター職員や学生献血推進協議会メンバーがμFMに出演し、献血を呼びかけるキャンペーンを実施し、期間中、1,969名の協力が得られた。

## (6) 献血予約の推進と協力要請

献血の待ち時間や混雑緩和のため、献血の予約を推進し、また、献血者減少時など必要に応じて献血への協力依頼を行った。

献血WEB会員サービス「ラブラッド」では、献血の予約や依頼要請をはじめ、検査結果の閲覧、献血に協力した、あるいは輸血によって助けられた方の声などのサービスを提供している。また、令和4年9月28日には、アプリ版献血カード及び事前WEB問診回答の運用を開始しラブラッド会員のサービス向上を図り、さらなる会員募集に取り組んだ。

### 複数回献血クラブ(ラブラッド)登録者数 (人)

令和2年度	令和3年度	令和4年度
14,583	21,161	26,761

## (7) 骨髄バンク事業

骨髄提供者の受付及び登録業務を行い、データ管理に万全を期すとともに、献血併行型骨髄バンクドナー登録会への協力を努めた。

(人)

登録者受付数(新規)	208
登録取消者数	271
累計登録者数	4,618
(前年度末累計登録者数)	4,681

## (8) 献血功労者表彰

献血功労者として、次の団体が受賞された。

### [厚生労働大臣表彰状] (2団体)

- ・フェニテックセミコンダクター株式会社 鹿児島工場
- ・鹿児島市交通局

### [厚生労働大臣感謝状] (6団体)

- ・株式会社 新生社印刷
- ・メテック株式会社 九州事業所 鹿児島工場
- ・薩摩川内ロータリークラブ
- ・出水市消防本部
- ・南国殖産株式会社
- ・鹿児島西警察署

## 12 社会福祉事業

特別養護老人ホーム錦江園は、ユニット型施設として指定介護老人福祉施設事業（80床）と短期入所生活介護事業（2床）の事業を行っている。

令和4年度においても、入居希望者の円滑な入居を進めるため、入居検討委員会を定期的に開催した他、介護保険における各種加算項目の算定要件に適切に対応しながら経営の安定に努めた。並行して新型コロナウイルス感染症対策として、希望する入居者や職員へのコロナワクチン接種（4回目、5回目）を令和4年8月、令和5年1月及び2月にそれぞれ実施した。



懸案となっている介護職員の処遇についても、「介護職員処遇改善加算」や「特定処遇改善加算」、「介護職員等ベースアップ等支援加算」による賃金の引き上げを行い、人材の確保に努めた結果、大きな欠員を生じることなくサービスの提供を行うことができた。

なお、社会福祉事業の財源である介護保険事業収入は424,726千円となり、令和3年度（前年度）決算額413,334千円と比較すると11,392千円の増収となった。



入居者の介護にあたっては、一人ひとりの個性や生活リズムに沿ってサービスを提供し、施設であっても自宅での生活を継続できるよう支援した他、入居者が有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう支援した。

さらに、鹿児島赤十字病院や歯科医療機関等の協力をいただき、入居者の健康管理、口腔ケアに努めた。

### (1) 指定介護老人福祉施設事業

令和4年度の施設介護料収入は、介護職員等ベースアップ等支援加算の新設や各種加算の取得等により、前年度より4,278千円増の312,247千円となった。

#### <利用状況>

	定員数 (人)	総日数 (日)	延べ数 (人)	入居率 (%)
令和4年度	80	29,200	28,169	96.5
令和3年度	80	29,200	28,184	96.5

※総日数=365日(1年間)×定員数

#### <入退居者の状況>

(単位:人)

区分	入居	退所	死亡
令和4年度	21	1	17
令和3年度	21	0	24

#### <入院の状況>

(延べ日数)

	4月 ~6月	7月 ~9月	10月 ~12月	1月 ~3月	計
令和4年度	339	240	192	152	923
令和3年度	289	184	142	253	868

#### <要介護度の状況>

(令和5年3月31日時点)

要介護度	1	2	3	4	5	計	平均介護度
令和4年度	0	0	7	31	42	80	4.44
令和3年度	0	0	7	33	40	80	4.41

## (2) 短期入所生活介護事業

令和4年度の居宅介護料収入は、平均介護度の上昇などの理由から前年度より450千円増の6,268千円となった。

<利用状況>

	定員数 (人)	総日数 (日)	延べ数 (人)	利用率 (%)
令和4年度	2	730	669	91.6
令和3年度	2	730	657	90.0

※総日数=365日(1年間)×定員数(2名)

<利用者数・要介護度の状況>

(令和5年3月31時点)

要介護度	1	2	3	4	5	計	平均介護度
令和4年度	0	0	3	5	2	10	3.90
令和3年度	0	0	4	4	2	10	3.68

## (3) 入居者へ質の高いサービスの提供

- ・例年は集合形式で職場内研修を毎月開催している。本年度はコロナ禍のため、集合形式での研修を中止することが多かった。一方で、研修資料の回覧を行い職員の資質の向上と職業倫理の徹底を図った。
- ・職場内研修を充実させるため「身体拘束廃止研修会」は外部から講師を招いて行った。
- ・「サービス担当者会議」等の各種会議、「感染症等対策委員会」、「介護事故防止検討委員会」、「身体拘束適正化検討委員会」等の各種委員会を文書による審議で行い、職種間の緊密な連携による質の高いサービスの提供に努めた。
- ・鹿児島赤十字病院と提携し、週1回の回診を行うことで入居者の健康管理に努めた。
- ・協力歯科医療機関の歯科医師から入居者の口腔ケアに係る技術的助言や指導を受け、経管栄養食から経口摂取への移行や入居者の口腔機能を維持管理するための口腔ケアに努めた。
- ・入居者の情緒の安定を図るため、各ユニットでの催し物（流しそうめん、たこやき作り等）やコスモス畑への園外散策を実施した。



身体拘束廃止研修会



コスモス畑への園外散策



そうめん流し



たこ焼き作り

#### (4) 入居者の安全対策・環境整備

- ・防災安全委員会を年4回開催した他、防火避難訓練や災害対応研修会を実施し、防災対策および防災意識の向上に努めた。



防火避難訓練

#### (5) ボランティアの受入れと地域との連携

- ・例年、多数のボランティアを受け入れ、入居者やその家族、地域住民との交流を図っているが、本年度はコロナ禍のため、ボランティアの受け入れはできなかった。
- ・例年、「平川町づくり協議会」に参加し地域との連携や交流拡大に努めているが、本年度もコロナ禍のため参加を見送った。

#### (6) 実習生の受入れ

- ・例年、介護実習生を受け入れているが、本年度はコロナ禍のため受け入れは行わなかった。

#### (7) 地域貢献活動について

- ・地域に信頼され開かれた福祉施設を目指して、生活習慣病予防の出前講座及び救急法短期講習を行った。
- ・台風接近時の避難先として施設を開放し、地域住民の受け入れを行った。



救急法短期講習



台風避難者の受入れ

#### (8) 広報活動について

- ・ホームページを随時更新し、地域や一般市民に対して必要な情報を提供した。

#### (9) その他

- ・「5 3 zero」(ボランティア団体) から車椅子2台、錦江園家族会からフルリクライニング&ティルティング車椅子1台を寄贈していただいた。

(参考)

令和4年度における入居者の状況(令和5年3月31日現在)

(ア) 出身市町村別、年齢別の状況

(単位:人)

出身地	年 齢 性別	65歳	70歳	80歳	85歳	90歳	95歳	100歳	計	合計	
		～ 69歳	～ 79歳	～ 84歳	～ 89歳	～ 94歳	～ 99歳	以上			
鹿児島市	男	2	4	6		2			14	66	
	女		2	2	11	23	10	4	52		
南九州市	男		1						1	3	
	女				1	1			2		
指宿市	男			1					1	3	
	女			1			1		2		
南さつま市	女		1						1	1	
枕崎市	女			1					1	1	
垂水市	女					1			1	1	
日置市	女						1		1	1	
いちき串木野市	女				1				1	1	
薩摩川内市	女					1			1	1	
十島村	男					1			1	2	
	女					1			1		
計	男	2	5	7	0	3	0	0	17	80	
	女	0	3	4	13	27	12	4	63		
平均年齢		89歳6月		最高年齢		103歳0月		最少年齢		68歳10月	
男		80歳9月		男		94歳4月		男		68歳10月	
女		91歳8月		女		103歳0月		女		71歳9月	

(イ) 在園期間

(単位:人)

性別	在園期間	1年未	2年未	3年未	4年未	5年未	6年未	7年未	8年未	9年未	10年未	11年未	12年未	13年未	14年未	合計
		満	満	満	満	満	満	満	満	満	満	満	満	満		
男		3	5	2	2	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	17
女		13	13	3	6	11	5	3	0	1	4	0	2	0	2	63
計		16	18	5	8	13	7	3	0	1	5	0	2	0	2	80

## (ウ) 日常生活能力

(単位：人)

区 分	歩 行				食 事			入 浴			着 衣			排 泄									
	自 力 歩 行	杖 等 の 歩 行 補 助 器 使 用	車 い す 使 用	歩 行 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 面 介 助	昼 間		夜 間		お む つ 使 用	お む つ 使 用				
														便 所		お む っ 使 用				便 所		お む っ 使 用	
														自 分 で 可 能	介 助	自 分 で 可 能	介 助			自 分 で 可 能	介 助	自 分 で 可 能	介 助
人 数	2	5	70	3	35	17	28	1	20	59	6	28	46	13	28	39	11	11	58				

## (エ) 疾病の状況

(単位：人)

病 名	人 員	病 名	人 員
脳 卒 中 後 遺 症	30	パ ー キ ン ソ ン 病	3
ア ル ツ ハ イ マ ー 型 認 知 症	9	糖 尿 病	7
脳 血 管 性 認 知 症	7	精 神 遅 滞	1
心 疾 患	8	脊 柱 管 狭 窄 症	3
関 節 リ ウ マ チ	12		

## (オ) 死亡者の死因

(単位：人)

疾病名 区分	老 衰	肺 炎	胸膜炎	悪性 リンパ腫	敗血症	成人 スチル病	計
施 設	9	3	1	1	0	0	14
病 院	0	1	0	0	1	1	3
計	9	4	1	1	1	1	17

## 13 評議員会及び監査等

### (1) 支部評議員会

評議員会を次のとおり開催し、いずれの議案も原案どおり承認された。

- ・第1回支部評議員会〔6月17日（金）於：マリnpレスかごしま〕  
第1号議案 令和3年度主要事業の実施状況報告及び令和3年度歳入歳出決算  
について
- ・第2回支部評議員会〔2月8日（水）於：マリnpレスかごしま〕  
第1号議案 令和5年度事業計画（案）及び令和5年度歳入歳出予算（案）に  
ついて

### (2) 業務監査

令和4年度支部業務及び会計歳入歳出決算の支部監査委員による監査は、5月26日（木）に、監査委員3名により各施設の監査が実施され、適正であるとの講評を得た。

- 日本赤十字社鹿児島県支部一般会計
- 鹿児島赤十字病院医療施設特別会計
- 特別養護老人ホーム錦江園社会福祉施設特別会計

### (3) 地区・分区関係各種会議等

会員増強運動並びに事業の進展を図るため、次の会議・研修会等を開催した。

#### ア 地区・分区支所等事務長及び担当者研修会

- ・4月22日（金）  
場 所 マリnpレスかごしま  
参加者数 60人  
研修内容 赤十字について  
赤十字事務取扱要領について  
日本赤十字社の活動報告  
グループワーク（災害エスノグラフィー）

#### イ 社業振興幹事会

- ・10月21日（金）  
場 所 鹿児島県赤十字会館  
出 席 23人（幹事）うち10名オンラインにて出席  
議 題 鹿児島県支部における社資募集の現状について  
鹿児島県支部における社資募集の課題と今後の取り組みについて  
赤十字大会等について

ウ 副地区長及び担当者会議（郡地区）

・ 1月20日（金）

場 所	鹿児島県赤十字会館
出 席	11人
議 題	令和4年度（12月末）主要事業実施状況概要について 令和5年度事業計画について 令和4年度会員数・社資額の状況について 令和5年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について 地区説明会について 令和5年全国赤十字大会について 令和5年度九州八県赤十字大会について

エ 市地区事務長会議

・ 2月20日（月）

場 所	鹿児島県赤十字会館
出 席	17人（市地区）
議 題	令和4年度（12月末）主要事業実施状況概要について 令和5年度事業計画について 令和4年度会員数・社資額の状況について 令和5年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について 令和5年全国赤十字大会について 令和5年度九州八県赤十字大会について

オ 郡地区説明会

・ 2月2日（木）～27日（月）（6地区4会場で開催）

出 席	41人（郡地区・地区・分区担当者等）
議 題	令和4年度（12月末）主要事業実施状況概要について 令和4年度会員数・社資額の状況について 令和5年度事業計画について 令和5年度赤十字会員増強運動事務処理要領及び目標額について 令和5年全国赤十字大会について 令和5年度九州八県赤十字大会について

# 14 決算状況

## (1) 令和4年度一般会計歳入歳出決算書

日本赤十字社鹿児島県支部

歳入				歳出							
科目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比 %	科目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C-D)	執行率 (D/C)	全体比 %
支部収入	280,504,000	285,946,256	5,442,256	101.9	100.0	支部費	280,504,000	241,688,893	38,815,107	86.2	100.0
社資収入	206,354,000	216,966,793	10,612,793	105.1	75.9	災害救護事業費	25,809,000	20,725,947	5,083,053	80.3	8.6
委託金等収入	0	57,600	57,600	-	0.0	社会活動費	40,463,000	26,141,965	14,321,035	64.6	10.8
補助金及び交付金 収入	4,706,000	3,253,882	△ 1,452,118	69.1	1.1	国際活動費	2,354,000	2,353,250	750	-	1.0
災害義援金預り金 収入	0	0	0	-	0.0	指定事業地方振興 費	3,254,000	3,253,250	750	100.0	1.3
繰入金収入	2,354,000	2,444,250	90,250	103.8	0.9	地区区分交付金支 出	38,852,000	38,757,770	94,230	99.8	16.0
貸付金償還金収 入	5,000,000	5,000,000	0	100.0	1.7	社業振興費	35,857,000	26,064,537	9,792,463	72.7	10.8
資産収入	0	0	0	-	0.0	基盤整備交付金・ 補助金支出	360,000	0	360,000	0.0	0.0
雑収入	2,683,000	2,740,616	57,616	102.1	1.0	積立金支出	37,006,000	36,836,994	169,006	99.5	15.2
前年度繰越金	59,407,000	55,483,115	△ 3,923,885	93.4	19.4	総務管理費	56,989,000	51,531,895	5,457,105	90.4	21.3
						資産取得及び資産 管理費	6,137,000	4,236,254	1,900,746	69.0	1.8
						本社送納金	31,788,000	31,787,031	969	100.0	13.2
						予備費	1,635,000	0	1,635,000	0.0	0.0
合 計	280,504,000	285,946,256	5,442,256	101.9	100.0	合 計	280,504,000	241,688,893	38,815,107	86.2	100.0

歳入歳出差引額 44,257,363 円

(2) 令和4年度医療施設特別会計歳入歳出決算書

鹿児島赤十字病院

[収益的收入]				[収益の支出]									
科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比	科	目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C-D)	執行率 (D/C)	全体比
		円	円	円	%	%			円	円	円	%	%
1	医療収益	3,553,053,000	3,228,077,975	△ 324,975,025	90.9	77.6	1	医療費用	3,735,263,000	3,690,760,438	44,502,562	98.8	98.0
2	医療外収益	55,811,000	881,319,880	825,508,880	1,579.1	21.2	2	医療外費用	36,291,000	35,914,779	376,221	99.0	1.0
3	医療社会事業収益	53,352,000	49,577,998	△ 3,774,002	92.9	1.2	3	医療奉仕費用	53,352,000	35,973,256	17,378,744	67.4	1.0
5	特別利益	0	659,346	659,346	0.0	0.0	5	特別損失	561,000	559,335	1,665	99.7	0.0
	収益的收入 合計	3,662,216,000	4,159,635,199	497,419,199	113.6	100.0	6	法人税等	1,086,000	434,223	651,777	40.0	0.0
							7	予備費	0	0	0	0.0	0.0
								収益の支出 合計	3,826,553,000	3,763,642,031	62,910,969	98.4	100.0

収益的收入支出差引額 395,993,168 円

[資本的收入]				[資本の支出]					
科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	翌年度繰越額 (C)	予算現額に比し増 減(A)-(B)-(C)	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
		円	円	円	円	円	円	円	円
1	固定負債	3,300,000	3,300,000		0	50,640,000	46,278,240		4,361,760
3	その他の資本収入	145,765,000	141,399,593		4,365,407	98,425,000	98,421,353		3,647
	資本的收入 合計	149,065,000	144,699,593	0	4,365,407	149,065,000	144,699,593	0	4,365,407

資本的收入支出差引額 0 円

(3) 令和4年度社会福祉施設特別会計歳入歳出決算書

1 事業活動による収入及び支出

科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	予算現額に比し 増減(B)-(A)	収入率 (B/A)	全体比 %	科	目	予算現額 (C)	決算額 (D)	不用額 (C)-(D)	執行率 (D/C)	全体比 %
1	施設収入						1	施設費					
1	介護保険事業収入	415,138,000	424,726,696	9,588,696	102.3	99.9	1	人件費支出	303,169,000	296,493,649	6,675,351	97.8	80.2
10	経常経費寄付金収入	0	104,208	104,208	0.0	0.0	2	事業費支出	50,564,000	50,563,733	267	100.0	13.7
11	受取利息配当金収入	0	3	3	0.0	0.0	3	事務費支出	22,740,000	20,906,288	1,833,712	91.9	5.7
12	その他の収入	205,000	222,108	17,108	108.3	0.1	6	利用者負担軽減額	712,000	711,380	620	99.9	0.2
							7	支払利息支出	1,002,000	993,414	8,586	99.1	0.3
							8	その他の支出	100,000	600	99,400	0.6	0.0
	事業活動収入計	415,343,000	425,053,015	9,710,015		100.0		事業活動支出計	378,287,000	369,669,064	8,617,936	97.7	100.0
								事業活動資金収支差額	55,383,951				

2 施設整備等による収入及び支出

科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し 増減(B)-(A)+(C)	全体比 %	科	目	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
15	施設整備等寄付金収入	0	1,000,000	0	1,000,000		10	設備資金借入金元金補償支出	14,808,000	14,808,000	0	0
16	設備資金借入金収入	0	0	0	0		11	固定資産取得支出	3,225,000	3,224,617	0	383
							12	固定資産売却・廃棄支出	0	0	0	0
							13	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,545,000	2,424,758	0	120,242
	施設整備等収入計	0	1,000,000	0	1,000,000			施設整備等支出計	20,578,000	20,457,375	0	120,625
								施設整備等資金収支差額	△ 19,457,375			

3 その他の活動による収入及び支出

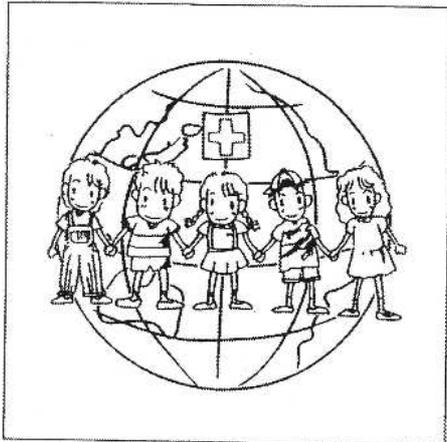
科	目	予算現額 (A)	決算額 (B)	収入未済額 (C)	予算現額に比し 増減(B)-(A)+(C)	全体比 %	科	目	予算現額 (D)	決算額 (E)	翌年度繰越額 (F)	不用額 (D)-(E)-(F)
24	他会計長期借入金収入	0	0	0	0		18	積立資産支出	1,000,000	0	0	1,000,000
28	他会計繰入金収入	0	449,820	0	449,820		21	他会計長期借入金返済支出	5,000,000	5,000,000	0	0
31	その他の活動による収入	0	0	0	0		26	その他の活動による支出	9,170,000	9,169,176	0	824
	財務活動収入計	0	449,820	0	449,820			財務活動支出計	15,170,000	14,169,176	0	1,000,824
								その他の活動資金収支差額	△ 13,719,356			

4 当期末支払資金残高

予算現額に比し 増減(B)-(A)	決算額 (B)	予算現額 (A)
37,056,000	55,383,951	円
△ 20,578,000	△ 19,457,375	△ 18,327,951
△ 15,170,000	△ 13,719,356	△ 1,120,625
1,065,000	22,207,220	1,450,644
243,000	22,207,220	21,964,220
169,536,000	155,720,420	△ 13,815,580
169,779,000	177,927,640	8,148,640

収入支出差引額 177,927,640 円





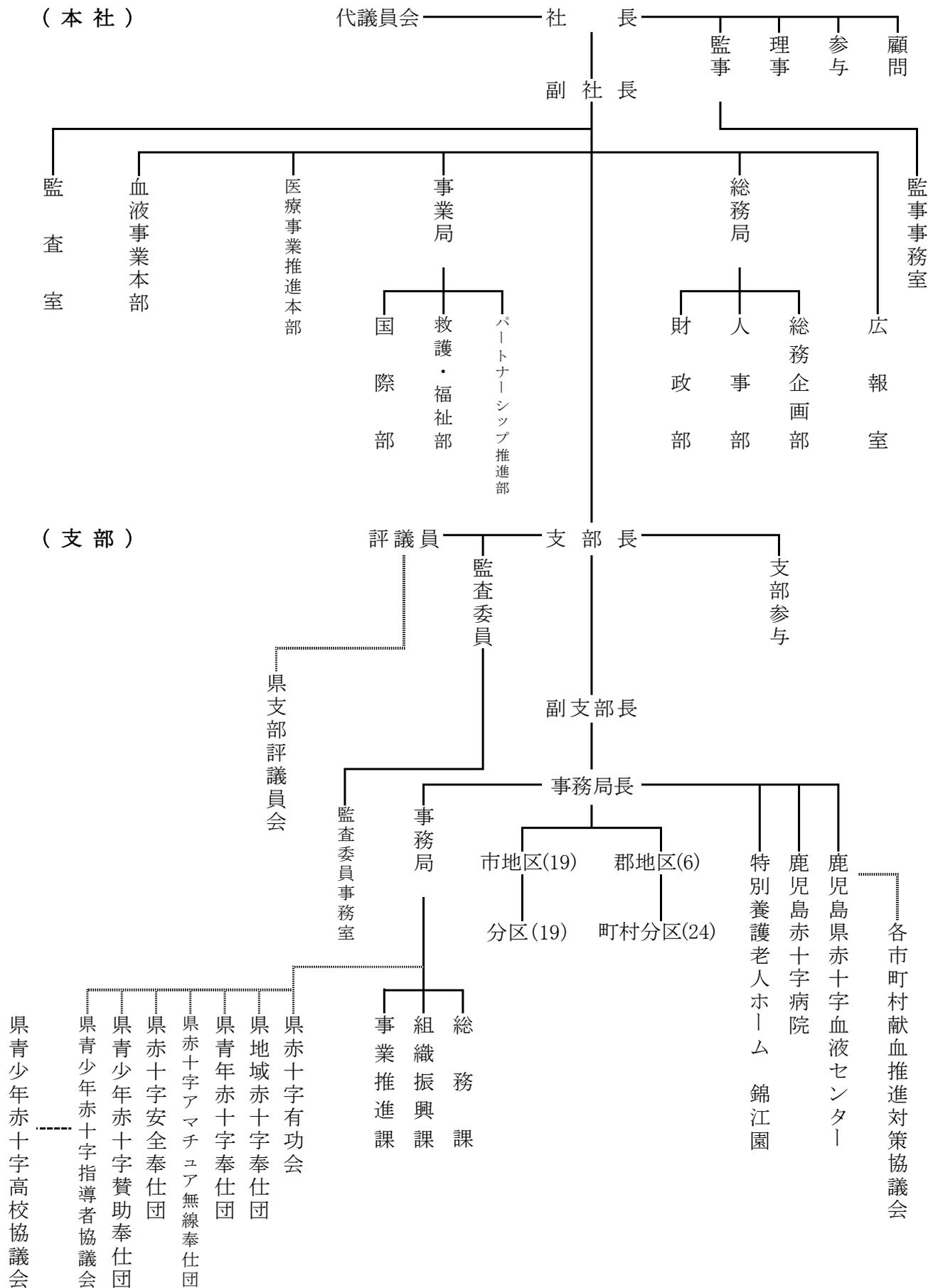
## 參考資料



本社及び支部組織図等

組 織 図

令和5年4月1日 現在



日本赤十字社鹿児島県支部主要役員名簿

主要役員名

令和5年4月1日現在

役職名	氏名	現職	任期
支部長	塩田 康一	県知事	R2. 7.28 ~ R5. 7.27
副支部長	須藤 明裕	県副知事	R3. 4. 1 ~ R6. 3.31
〃	房村 正博	県くらし保健福祉部長	R4. 4. 1 ~ R7. 3.31
本社理事	森 博幸	前鹿児島市長	R4. 4. 1 ~ R7. 3.31
支部選出本社代議員	森 博幸	前鹿児島市長	R4. 2.14 ~ R7. 2.13
〃	本坊 輝雄	南さつま市長	〃
〃	今別府 哲矢	前薩摩川内市社会福祉協議会会長	〃
〃	川畑 俊彦	南生建設(株)名誉会長	〃
〃	伊佐 幸子	赤十字奉仕団県支部委員会委員長	〃
支部監査委員	上川路 長生	公認会計士・税理士	R3. 7. 1 ~ R6. 6.30
〃	大柳 俊一	県町村会事務局長	R3. 4. 1 ~ R6. 3.31
〃	西井 上誠	前県社会福祉協議会常務理事兼事務局長	R3. 2. 9 ~ R6. 2. 8

支部参与

氏名	公職名	就任年月日
地頭所 恵	県教育長	令和5年4月1日
上久保 真吾	県くらし保健福祉部次長	令和5年4月1日
松田 典久	元支部事務局長	令和2年4月1日

# 日本赤十字社鹿児島県支部 評議員 名簿

## ■評議員

任期(令和4年2月14日～令和7年2月13日)

令和5年4月1日現在

地区名	氏名	職業	地区名等	氏名	職業	
鹿児島市地区	下鶴隆央	鹿児島市長	霧島市地区	中重真一	霧島市長	
〃	椎木明彦	鹿児島市社会事業協会 理事長	〃	福永洵	霧島市社会福祉協議会 会長	
〃	中間隆志	日赤鹿児島市地区協賛委員会 会長	いちき串木野市地区	中屋謙治	いちき串木野市長	
〃	濱田賢三	前日赤鹿児島市地区協賛委員会 副会長	南さつま市地区	本坊輝雄	南さつま市長	
〃	三原美智子	日赤鹿児島市地区協賛委員会 副会長	志布志市地区	下平晴行	志布志市長	
〃	赤星貴子	鹿児島中央赤十字奉仕団 委員長	奄美市地区	安田壮平	奄美市長	
〃	丸田智恵子	鹿児島市谷山赤十字奉仕団 委員長	南九州市地区	塗木弘幸	南九州市長	
鹿屋市地区	中西茂	鹿屋市長	伊佐市地区	橋本欣也	伊佐市長	
〃	宮下昭廣	鹿屋市社会福祉協議会 会長	始良市地区	湯元敏浩	始良市長	
枕崎市地区	前田祝成	枕崎市長	郡地区	鹿児島・始良・北薩	大山辰夫	三島村長
阿久根市地区	西平良将	阿久根市長		大隅	永野和行	肝付町長
出水市地区	椎木伸一	出水市長		熊毛	荒木耕治	屋久島町長
指宿市地区	打越明司	指宿市長		大島	高岡秀規	徳之島町長
西之表市地区	八板俊輔	西之表市長	支部長選出	森博幸	前鹿児島市長	
垂水市地区	尾脇雅弥	垂水市長	〃	池田琢哉	県医師会 会長	
薩摩川内市地区	田中良二	薩摩川内市長	〃	松前邦昭	県赤十字有功会 会長	
〃	上屋和夫	薩摩川内市社会福祉協議会 会長	〃	川畑俊彦	南生建設(株) 名誉会長	
日置市地区	永山由高	日置市長	〃	佐潟隆一	(株)南日本新聞社 社長	
曾於市地区	五位塚剛	曾於市長	〃	中野寿康	(株)南日本放送社 社長	
			〃	伊佐幸子	赤十字奉仕団県支部委員会 委員長	
			〃	森吉研一	県青少年赤十字指導者協議会 会長	

評議員 計 40名

# 日本赤十字社現勢

<p><b>日本赤十字社の使命</b></p> <p style="text-align: center;">わたしたちは、 苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、 いかなる状況下でも、 人間のいのちと健康、尊厳を守ります。</p>	<p style="text-align: center;">日本赤十字社スローガン 人間を救うのは、人間だ。</p> <p><b>赤十字の基本原則</b> 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性</p>																																																																																																																																																																																																																																																
<p><b>1949年のジュネーブ四条約締結国</b> 196カ国</p>	<p><b>世界の赤十字社・赤新月社等</b> 192社</p>																																																																																																																																																																																																																																																
<p><b>1. 沿革</b></p> <p>明治10年(1877) 5月 1日 博愛社設立</p> <p>明治20年(1887) 5月 20日 日本赤十字社に改称</p> <p>昭和27年(1952) 8月 14日 日本赤十字社法制定</p> <p><b>2. 名誉総裁・名誉副総裁</b></p> <p>名誉総裁 皇后陛下</p> <p>名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下 常陸宮殿下・同妃華子殿下 三笠宮妃百合子殿下 寛仁親王妃信子殿下 高円宮妃久子殿下</p> <p><b>3. 会員</b></p> <p>(令和4年3月31日現在) 個人 20万人 法人 8.5万法人</p> <p><b>4. 評議員</b> 2,004人</p> <p><b>5. 代議員</b> 223人</p> <p><b>6. 役員(令和4年7月1日現在)</b></p> <p>社長 清家 篤(常勤)</p> <p>副社長 鈴木 俊彦(常勤) 十倉 雅和(非常勤)</p> <p>理事 61人(常勤5人、非常勤56人)</p> <p>監事 3人(常勤1人、非常勤2人)</p> <p><b>7. 青少年赤十字(令和4年3月31日現在)</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>幼稚園・保育所</td><td>1,784校</td><td>149,352人</td></tr> <tr><td>小学校</td><td>7,076校</td><td>1,953,430人</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>3,495校</td><td>978,908人</td></tr> <tr><td>高等学校</td><td>1,772校</td><td>361,188人</td></tr> <tr><td>特別支援学校</td><td>203校</td><td>21,097人</td></tr> <tr><td>その他</td><td>111校</td><td>28,678人</td></tr> <tr><td>計</td><td>14,441校</td><td>3,492,653人</td></tr> <tr><td>指導者</td><td>243,861人</td><td></td></tr> </table> <p><b>8. 赤十字ボランティア(令和4年3月31日現在)</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>地域赤十字奉仕団</td><td>2,107団</td><td>1,097,423人</td></tr> <tr><td>青年赤十字奉仕団</td><td>149団</td><td>5,387人</td></tr> <tr><td>特殊赤十字奉仕団</td><td>630団</td><td>29,324人</td></tr> <tr><td>個人ボランティア等</td><td>-</td><td>12,000人</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,886団</td><td>1,144,134人</td></tr> </table> <p><b>9. 救急法等の講習</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">資格登録者数(令和4年3月31日現在)</th> <th rowspan="2">受講者数 (令和3年度)</th> </tr> <tr> <th>指導者</th> <th>救急員等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>救急法基礎講習</td><td>10,806人</td><td>240,118人</td><td>19,580人</td></tr> <tr><td>救急法</td><td>6,863人</td><td>132,089人</td><td>193,142人</td></tr> <tr><td>水上安全法</td><td>1,486人</td><td>10,330人</td><td>18,813人</td></tr> <tr><td>雪上安全法</td><td>212人</td><td>1,001人</td><td>125人</td></tr> <tr><td>幼児安全法</td><td>2,245人</td><td>19,598人</td><td>34,204人</td></tr> <tr><td>健康生活支援講習</td><td>1,716人</td><td>14,076人</td><td>20,051人</td></tr> <tr><td>計</td><td>23,328人</td><td>417,212人</td><td>285,915人</td></tr> </tbody> </table> <p><b>10. 看護師等の教育</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>施設数</th> <th colspan="2">一学年養成定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大学(大学院併設)</td><td>6</td><td>看護師 17校 1,195人</td></tr> <tr><td>短期大学</td><td>1</td><td>助産師 6校 88人</td></tr> <tr><td>看護専門学校</td><td>11</td><td>保健師 6校 149人</td></tr> <tr><td>助産師学校</td><td>1</td><td>幹部看護師 1校 120人</td></tr> <tr><td>幹部看護師研修センター</td><td>1</td><td>介護福祉士 1校 30人</td></tr> <tr><td>計</td><td>20</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p><b>11. 国際活動</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>国際救援・開発要員派遣(令和3年度)</td><td>8カ国</td><td>のべ26人</td></tr> <tr><td>国際赤十字・赤新月社連盟出向</td><td>3人(スイス、マレーシア)</td><td></td></tr> <tr><td>国際活動費(令和3年度)</td><td></td><td>42億円</td></tr> </table>	幼稚園・保育所	1,784校	149,352人	小学校	7,076校	1,953,430人	中学校	3,495校	978,908人	高等学校	1,772校	361,188人	特別支援学校	203校	21,097人	その他	111校	28,678人	計	14,441校	3,492,653人	指導者	243,861人		地域赤十字奉仕団	2,107団	1,097,423人	青年赤十字奉仕団	149団	5,387人	特殊赤十字奉仕団	630団	29,324人	個人ボランティア等	-	12,000人	計	2,886団	1,144,134人		資格登録者数(令和4年3月31日現在)		受講者数 (令和3年度)	指導者	救急員等	救急法基礎講習	10,806人	240,118人	19,580人	救急法	6,863人	132,089人	193,142人	水上安全法	1,486人	10,330人	18,813人	雪上安全法	212人	1,001人	125人	幼児安全法	2,245人	19,598人	34,204人	健康生活支援講習	1,716人	14,076人	20,051人	計	23,328人	417,212人	285,915人	施設数	一学年養成定員		大学(大学院併設)	6	看護師 17校 1,195人	短期大学	1	助産師 6校 88人	看護専門学校	11	保健師 6校 149人	助産師学校	1	幹部看護師 1校 120人	幹部看護師研修センター	1	介護福祉士 1校 30人	計	20		国際救援・開発要員派遣(令和3年度)	8カ国	のべ26人	国際赤十字・赤新月社連盟出向	3人(スイス、マレーシア)		国際活動費(令和3年度)		42億円	<p><b>12. 国内災害救護</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>救護員数</td><td colspan="2">7,792人(常備救護班要員を含む)</td></tr> <tr><td>常備救護班</td><td>485班</td><td>4,954人</td></tr> <tr><td>無線局</td><td colspan="2">(令和4年3月31日現在) 3,184局</td></tr> <tr><td>救護車両</td><td colspan="2">1,829台</td></tr> <tr><td>赤十字飛行隊(特殊奉仕団)</td><td colspan="2">103人</td></tr> <tr><td>災害における救護員出勤数(令和3年度)</td><td colspan="2">1,690人</td></tr> <tr><td>救援物資配分数(毛布・安眠セット・緊急セット)(令和3年度)</td><td colspan="2">13,297個</td></tr> <tr><td>令和3年度取扱義援金額(令和4年3月31日現在)</td><td colspan="2">20億8,599万2,926円</td></tr> </table> <p><b>13. 医療事業</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th colspan="3">施設数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="3">病院</td><td>診療所</td><td>5</td></tr> <tr><td>老人保健施設</td><td>5</td></tr> <tr><td>介護医療院</td><td>5</td></tr> <tr><td>病床総数</td><td colspan="2">35,028床(令和4年3月31日現在)</td></tr> <tr><td colspan="3">総患者数(令和3年度)</td><td>1日平均</td></tr> <tr><td>入院</td><td>956万人</td><td>2.6万人</td></tr> <tr><td>外来</td><td>1,514万人</td><td>6.2万人</td></tr> </tbody> </table> <p><b>14. 血液事業</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th colspan="3">施設数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>地域血液センター</td><td>47</td><td>ブロック血液センター 7</td></tr> <tr><td>附属施設</td><td>170</td><td>附属施設(製造所) 4</td></tr> <tr><td>(献血ルーム116を含む)</td><td></td><td>分室 1</td></tr> <tr><td>献血者数(令和3年度)</td><td colspan="2">供給本数(令和3年度)</td></tr> <tr><td>成分献血 164万人</td><td>輸血用製剤</td><td>1,725万本</td></tr> <tr><td>400mL 献血 328万人</td><td>車両台数(令和4年3月31日現在)</td><td></td></tr> <tr><td>200mL 献血 12万人</td><td>献血運搬車</td><td>854台</td></tr> <tr><td>計 505万人</td><td>移動採血車</td><td>278台</td></tr> </tbody> </table> <p><b>15. 社会福祉事業</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th colspan="3">児童福祉施設数(定員)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>乳児院</td><td>8(291)</td><td>医療型障害児入所施設 3(286)</td></tr> <tr><td>保育所</td><td>3(368)</td><td></td></tr> <tr><td>児童養護施設</td><td>1(40)</td><td></td></tr> <tr><th colspan="3">老人福祉施設数(定員)</th></tr> <tr><td>特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む)</td><td colspan="2">8(773)</td></tr> <tr><td>障害者福祉施設数(定員)</td><td>複合型施設</td><td>1(定員)</td></tr> <tr><td>障害者支援施設</td><td>1(50)</td><td>特別養護老人ホーム(110)</td></tr> <tr><td>視聴覚障害者情報提供施設</td><td>2</td><td>介護老人保健施設(100)</td></tr> <tr><td>補装具製作施設</td><td>1</td><td>高齢者グループホーム(18)</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>障害者支援施設(10)</td></tr> </tbody> </table> <p><b>16. 職員数(施設数)</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr><th colspan="2">職員数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>本社(1)</td><td>536人</td></tr> <tr><td>支部(47)</td><td>696人</td></tr> <tr><td>医療事業(118)</td><td>59,356人</td></tr> <tr><td>血液事業(229)</td><td>5,849人</td></tr> <tr><td>社会福祉事業(28)</td><td>1,137人</td></tr> <tr><td>計</td><td>67,574人</td></tr> </tbody> </table> <p><b>17. 会計(令和4年度当初予算)</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>一般会計</td><td>本社</td><td>200億4千万円</td></tr> <tr><td></td><td>支部</td><td>198億7千万円</td></tr> <tr><td>医療施設特別会計</td><td></td><td>1兆1,515億9千万円</td></tr> <tr><td>血液事業特別会計</td><td></td><td>1,612億6千万円</td></tr> <tr><td>社会福祉施設特別会計</td><td></td><td>156億1千万円</td></tr> </table>	救護員数	7,792人(常備救護班要員を含む)		常備救護班	485班	4,954人	無線局	(令和4年3月31日現在) 3,184局		救護車両	1,829台		赤十字飛行隊(特殊奉仕団)	103人		災害における救護員出勤数(令和3年度)	1,690人		救援物資配分数(毛布・安眠セット・緊急セット)(令和3年度)	13,297個		令和3年度取扱義援金額(令和4年3月31日現在)	20億8,599万2,926円		施設数			病院	診療所	5	老人保健施設	5	介護医療院	5	病床総数	35,028床(令和4年3月31日現在)		総患者数(令和3年度)			1日平均	入院	956万人	2.6万人	外来	1,514万人	6.2万人	施設数			地域血液センター	47	ブロック血液センター 7	附属施設	170	附属施設(製造所) 4	(献血ルーム116を含む)		分室 1	献血者数(令和3年度)	供給本数(令和3年度)		成分献血 164万人	輸血用製剤	1,725万本	400mL 献血 328万人	車両台数(令和4年3月31日現在)		200mL 献血 12万人	献血運搬車	854台	計 505万人	移動採血車	278台	児童福祉施設数(定員)			乳児院	8(291)	医療型障害児入所施設 3(286)	保育所	3(368)		児童養護施設	1(40)		老人福祉施設数(定員)			特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む)	8(773)		障害者福祉施設数(定員)	複合型施設	1(定員)	障害者支援施設	1(50)	特別養護老人ホーム(110)	視聴覚障害者情報提供施設	2	介護老人保健施設(100)	補装具製作施設	1	高齢者グループホーム(18)			障害者支援施設(10)	職員数		本社(1)	536人	支部(47)	696人	医療事業(118)	59,356人	血液事業(229)	5,849人	社会福祉事業(28)	1,137人	計	67,574人	一般会計	本社	200億4千万円		支部	198億7千万円	医療施設特別会計		1兆1,515億9千万円	血液事業特別会計		1,612億6千万円	社会福祉施設特別会計		156億1千万円	
幼稚園・保育所	1,784校	149,352人																																																																																																																																																																																																																																															
小学校	7,076校	1,953,430人																																																																																																																																																																																																																																															
中学校	3,495校	978,908人																																																																																																																																																																																																																																															
高等学校	1,772校	361,188人																																																																																																																																																																																																																																															
特別支援学校	203校	21,097人																																																																																																																																																																																																																																															
その他	111校	28,678人																																																																																																																																																																																																																																															
計	14,441校	3,492,653人																																																																																																																																																																																																																																															
指導者	243,861人																																																																																																																																																																																																																																																
地域赤十字奉仕団	2,107団	1,097,423人																																																																																																																																																																																																																																															
青年赤十字奉仕団	149団	5,387人																																																																																																																																																																																																																																															
特殊赤十字奉仕団	630団	29,324人																																																																																																																																																																																																																																															
個人ボランティア等	-	12,000人																																																																																																																																																																																																																																															
計	2,886団	1,144,134人																																																																																																																																																																																																																																															
	資格登録者数(令和4年3月31日現在)		受講者数 (令和3年度)																																																																																																																																																																																																																																														
	指導者	救急員等																																																																																																																																																																																																																																															
救急法基礎講習	10,806人	240,118人	19,580人																																																																																																																																																																																																																																														
救急法	6,863人	132,089人	193,142人																																																																																																																																																																																																																																														
水上安全法	1,486人	10,330人	18,813人																																																																																																																																																																																																																																														
雪上安全法	212人	1,001人	125人																																																																																																																																																																																																																																														
幼児安全法	2,245人	19,598人	34,204人																																																																																																																																																																																																																																														
健康生活支援講習	1,716人	14,076人	20,051人																																																																																																																																																																																																																																														
計	23,328人	417,212人	285,915人																																																																																																																																																																																																																																														
施設数	一学年養成定員																																																																																																																																																																																																																																																
大学(大学院併設)	6	看護師 17校 1,195人																																																																																																																																																																																																																																															
短期大学	1	助産師 6校 88人																																																																																																																																																																																																																																															
看護専門学校	11	保健師 6校 149人																																																																																																																																																																																																																																															
助産師学校	1	幹部看護師 1校 120人																																																																																																																																																																																																																																															
幹部看護師研修センター	1	介護福祉士 1校 30人																																																																																																																																																																																																																																															
計	20																																																																																																																																																																																																																																																
国際救援・開発要員派遣(令和3年度)	8カ国	のべ26人																																																																																																																																																																																																																																															
国際赤十字・赤新月社連盟出向	3人(スイス、マレーシア)																																																																																																																																																																																																																																																
国際活動費(令和3年度)		42億円																																																																																																																																																																																																																																															
救護員数	7,792人(常備救護班要員を含む)																																																																																																																																																																																																																																																
常備救護班	485班	4,954人																																																																																																																																																																																																																																															
無線局	(令和4年3月31日現在) 3,184局																																																																																																																																																																																																																																																
救護車両	1,829台																																																																																																																																																																																																																																																
赤十字飛行隊(特殊奉仕団)	103人																																																																																																																																																																																																																																																
災害における救護員出勤数(令和3年度)	1,690人																																																																																																																																																																																																																																																
救援物資配分数(毛布・安眠セット・緊急セット)(令和3年度)	13,297個																																																																																																																																																																																																																																																
令和3年度取扱義援金額(令和4年3月31日現在)	20億8,599万2,926円																																																																																																																																																																																																																																																
施設数																																																																																																																																																																																																																																																	
病院	診療所	5																																																																																																																																																																																																																																															
	老人保健施設	5																																																																																																																																																																																																																																															
	介護医療院	5																																																																																																																																																																																																																																															
病床総数	35,028床(令和4年3月31日現在)																																																																																																																																																																																																																																																
総患者数(令和3年度)			1日平均																																																																																																																																																																																																																																														
入院	956万人	2.6万人																																																																																																																																																																																																																																															
外来	1,514万人	6.2万人																																																																																																																																																																																																																																															
施設数																																																																																																																																																																																																																																																	
地域血液センター	47	ブロック血液センター 7																																																																																																																																																																																																																																															
附属施設	170	附属施設(製造所) 4																																																																																																																																																																																																																																															
(献血ルーム116を含む)		分室 1																																																																																																																																																																																																																																															
献血者数(令和3年度)	供給本数(令和3年度)																																																																																																																																																																																																																																																
成分献血 164万人	輸血用製剤	1,725万本																																																																																																																																																																																																																																															
400mL 献血 328万人	車両台数(令和4年3月31日現在)																																																																																																																																																																																																																																																
200mL 献血 12万人	献血運搬車	854台																																																																																																																																																																																																																																															
計 505万人	移動採血車	278台																																																																																																																																																																																																																																															
児童福祉施設数(定員)																																																																																																																																																																																																																																																	
乳児院	8(291)	医療型障害児入所施設 3(286)																																																																																																																																																																																																																																															
保育所	3(368)																																																																																																																																																																																																																																																
児童養護施設	1(40)																																																																																																																																																																																																																																																
老人福祉施設数(定員)																																																																																																																																																																																																																																																	
特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む)	8(773)																																																																																																																																																																																																																																																
障害者福祉施設数(定員)	複合型施設	1(定員)																																																																																																																																																																																																																																															
障害者支援施設	1(50)	特別養護老人ホーム(110)																																																																																																																																																																																																																																															
視聴覚障害者情報提供施設	2	介護老人保健施設(100)																																																																																																																																																																																																																																															
補装具製作施設	1	高齢者グループホーム(18)																																																																																																																																																																																																																																															
		障害者支援施設(10)																																																																																																																																																																																																																																															
職員数																																																																																																																																																																																																																																																	
本社(1)	536人																																																																																																																																																																																																																																																
支部(47)	696人																																																																																																																																																																																																																																																
医療事業(118)	59,356人																																																																																																																																																																																																																																																
血液事業(229)	5,849人																																																																																																																																																																																																																																																
社会福祉事業(28)	1,137人																																																																																																																																																																																																																																																
計	67,574人																																																																																																																																																																																																																																																
一般会計	本社	200億4千万円																																																																																																																																																																																																																																															
	支部	198億7千万円																																																																																																																																																																																																																																															
医療施設特別会計		1兆1,515億9千万円																																																																																																																																																																																																																																															
血液事業特別会計		1,612億6千万円																																																																																																																																																																																																																																															
社会福祉施設特別会計		156億1千万円																																																																																																																																																																																																																																															

(特に断りのない統計数字等は、令和4年4月1日現在)

## 支部の現勢

令和5年4月1日 現在

### 役員

支部長	塩田 康一	
副支部長	須藤 明裕	
	房村 正博	
本社理事	森 博幸	
本社代議員		5人
監査委員		3人
評議員		40人

### 赤十字奉仕団委員長及び団員数

赤十字奉仕団県支部委員会委員長	伊佐 幸子	
・地域赤十字奉仕団(59団)		
団員数		11,938人
・赤十字安全奉仕団委員長	岩屋 幹夫	
団員数		140人
・青年赤十字奉仕団委員長	堀 段 怜奈	
団員数		10人
・赤十字アマチュア無線奉仕団委員長	松木 孝生	
団員数		324人
・赤十字看護奉仕団委員長	(休止中)	
団員数		0人
・青少年赤十字賛助奉仕団委員長	野村 大綱	
団員数		46人

### 赤十字有功会

会長	松前邦昭	会員数	300人(社)
----	------	-----	---------

### 青少年赤十字指導者協議会

会長	森吉研一
----	------

### 青少年赤十字加盟校・園

学校・保育園幼稚園	470校園
青少年赤十字メンバー	86,211人

### 会員

個人会員	1,045人
法人会員	1,010社
合計	2,055人(社)

### 講習指導員

救急法指導員	104人
水上安全法指導員	41人
幼児安全法指導員	36人
健康生活支援講習指導員	23人

### 医療事業

病院	1病院
診療科目	9科
内科・リウマチ科・循環器内科・	
呼吸器内科・整形外科・脳神経外科・	
麻酔科・放射線科・リハビリテーション科	
救急車等の配置	
救急車	1台
災害救援車	1台
一般病床	120床
医師	19人
医療技師	36人
看護師	101人

### 血液事業

血液センター・献血ルーム天文館・	
鹿屋出張所・川内出張所	
移動採血車	5台
検診車	4台
献血運搬車	19台
(出張所を含む)	
医師	7人
医療技師	5人
看護師	35人

### 社会福祉事業

特別養護老人ホーム	
入所定員数	80人
短期入所生活介護(ショートステイ)	2床
介護職員・看護師	50人

### 救護・援護事業

常備救護班	8班
常備要員	48人
無線基地局・移動局	77局
救急車	1台
災害救援車(地区分区配備含む)	70台
エアータント	2基
フレーム式拡張テント	3張
テント(地区分区配備含む)	146張
災害物資保管庫等	83カ所
炊き出し用釜セット	73カ所

## ○ 支 部 の 沿 革

明治 10(1877)年5月	博愛社創立
明治 20(1887)年 11月	日本赤十字社鹿児島地方委員会発足
25(1892)年 9月	日本赤十字社鹿児島県委員部を県庁内に設置
29(1896)年 7月	日本赤十字社鹿児島支部と改称
大正 12(1923)年12月	鹿児島郡中郡宇村郡元開院中の海濱院買収
昭和 12(1937)年11月	鹿児島市樋之口町に診療所開設
14(1939)年 5月	谷山町平川2545番地に病院移転、錦江療院と改称
20(1945)年 7月	戦災により支部社屋焼失
20(1945)年 9月	鹿児島市武町日本瓦斯ビル内に支部移転
23(1948)年 5月	鹿児島市郡元町に支部仮庁舎建設、瓦斯ビルより移転
24(1949)年 8月	鹿児島市郡元町支部構内に鹿児島診療所開設
26(1951)年 1月	同構内に支部新庁舎完成
27(1952)年 6月	錦江療院錫山出張診療所開設
27(1952)年 8月	日本赤十字社法制定、日本赤十字社鹿児島県支部と改称
33(1958)年 4月	錦江療院を錦江赤十字病院と改称、鹿児島診療所を病院附属とする。
40(1965)年 1月	鹿児島市下荒田町化学血清療法研究所鹿児島血液銀行内に鹿児島県赤十字血液センターを開設
42(1967)年 1月	支部構内に血液センター新社屋完成移転
43(1968)年 4月	錦江赤十字病院を鹿児島赤十字病院と改称、附属鹿児島診療所を支部郡元診療所と改称
45(1970)年 6月	県立大島病院内に血液センター名瀬出張所を開設、県立鹿屋病院内に血液センター鹿屋出張所を開設
49(1974)年 4月	支部郡元診療所閉鎖
49(1974)年 6月	特別養護老人ホーム錦江園を平川町赤十字病院敷地内に開設(定員50名)
50(1975)年12月	血液成分製剤の製造開始
52(1977)年11月	鹿児島市鴨池新町1番5号地に鹿児島県赤十字会館完成 支部事務局、血液センター移転
53(1978)年 3月	鹿児島赤十字病院火の河原出張診療所開設
53(1978)年 5月	鹿児島赤十字病院一般25室95床、結核17室75床に使用許可
55(1980)年 8月	血液センター鹿屋出張所閉鎖
55(1980)年 9月	血液センター名瀬出張所閉鎖
55(1980)年12月	ベトナム難民援護施設「赤十字垂水園」を垂水市に設置
56(1981)年 4月	鹿児島赤十字病院鹿児島広域市町村圏へき地中核病院に指定
56(1981)年 4月	血液センター献血者全員に検査サービス結果通知開始
56(1981)年 9月	鹿児島赤十字病院一般24室95床、結核15室75床に変更許可
57(1982)年 2月	血液センター供給室及び製剤室増改築完了
57(1982)年 3月	鹿児島赤十字病院一般病棟改築工事落成(鉄筋コンクリート、一部木造811㎡)
57(1982)年 4月	血液センター献血手帳の供給欄削除
57(1982)年 8月	鹿児島赤十字病院一般26室95床、結核15室75床に変更許可
58(1983)年 5月	赤十字看護婦像建立(日本赤十字社看護婦同方会鹿児島県支部)
58(1983)年 7月	鹿児島赤十字病院に新たに理学診療科、放射線科の2科を増設
59(1984)年 3月	血液センター車庫及び倉庫増築完了

- 60(1985)年 3月 錦江園研修宿泊施設及び15床、増築工事完成(定員70名に変更)
- 60(1985)年 8月 鹿児島赤十字病院一般29室120床、結核10室50床に変更許可
- 61(1986)年 2月 血液センター天文館出張所「献血ルーム・天文館」開設
- 61(1986)年 4月 血液センター400mL献血及び成分献血開始
- 61(1986)年 9月 血液センター採血室、検査室増築工事完成
- 62(1987)年 4月 特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床設置)
- 平成 元(1989)年 2月 鹿児島赤十字病院リウマチ検診車購入
- 元(1989)年 3月 ベトナム難民救護施設「赤十字垂水園」を閉鎖
- 元(1989)年 6月 血液センター業務をシステム化
- 2(1990)年 7月 鹿児島赤十字病院に新たに整形外科を増設
- 2(1990)年 11月 鹿児島赤十字病院増改築工事完成
- 3(1991)年 4月 血液センター血液凝固因子製剤製造用原料血漿の送付開始
- 4(1992)年 10月 鹿児島赤十字病院骨粗しょう検診車購入
- 4(1992)年 10月 鹿児島県支部創設百周年記念大会開催
- 5(1993)年 3月 『日赤鹿児島百年史』刊行
- 6(1994)年 4月 鹿児島県支部事務局組織改正
- 7(1995)年 1月 阪神・淡路大震災へ救護班2個班出動
- 8(1996)年 5月 鹿児島赤十字病院エイズ治療協力病院指定
- 8(1996)年 10月 鹿児島赤十字病院に新たにリウマチ科増設、理学診療科をリハビリテーション科に変更
- 9(1997)年 3月 鹿児島赤十字病院、災害拠点病院(地域災害医療センター)指定
- 10(1998)年 2月 血液センター増改築工事(放射線照射室 他)
- 10(1998)年 6月 鹿児島赤十字病院検診棟完成
- 11(1999)年 5月 鹿児島赤十字病院に鹿児島県へき地遠隔医療システム導入
- 11(1999)年 7月 鹿児島県赤十字会館増改築工事着工
- 12(2000)年 3月 鹿児島赤十字病院、居宅介護支援事業所指定
- 12(2000)年 4月 特別養護老人ホーム錦江園介護老人福祉施設および居宅サービス(短期入所生活介護)事業所指定(事業所番号4670101114)
- 12(2000)年 8月 鹿児島県赤十字会館増改築工事竣工
- 14(2002)年 6月 特別養護老人ホーム錦江園短期入所生活介護(定員1床増床)
- 14(2002)年 7月 赤十字病院「へき地医療拠点病院」指定(へき地中核病院の再編成)
- 15(2003)年 1月 鹿児島赤十字病院増改築工事(リハビリ棟 他)
- 15(2003)年 7月 鹿児島赤十字病院に新たに脳神経外科を増設、休止中の外科を廃止
- 15(2003)年 11月 鹿児島赤十字病院「保健文化賞」受賞(リウマチ膠原病・骨粗しょう症検診及び離島へき地診療による地域医療の貢献)
- 16(2004)年 3月 血液センターに新鮮凍結血漿の貯留保管のため供給課にプレハブフリーザー室を増設
- 16(2004)年 4月 鹿児島赤十字病院に新たに麻酔科を増設
- 16(2004)年 4月 鹿児島赤十字病院、結核病棟(休床)
- 16(2004)年 7月 鹿児島赤十字病院 「地域医療連携室」設置
- 17(2005)年 3月 鹿児島赤十字病院 「救急病院」認定
- 17(2005)年 4月 鹿児島赤十字病院 「特定診療科(眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科)巡回診療」県から移管
- 18(2006)年 3月 血液センター改修工事(1階採血施設に献血者問診室を設置)

- 18(2006)年 7月 血液センター 「献血ルーム天文館」全面改修リニューアルオープン
- 18(2006)年 10月 血液センター 「献血者健康被害救済制度」開始
- 18(2006)年 10月 血液センター 献血手帳を磁気型「献血カード」に変更
- 18(2006)年 11月 鹿児島赤十字病院 MRI室増築 稼働開始
- 19(2007)年 1月 血液センター 全ての血液製剤について保存前白血球除去開始  
(一部製剤は先行実施)
- 19(2007)年 2月 血液センター 採血時初流血液除去を開始
- 19(2007)年 3月 鹿児島赤十字病院 医療安全推進室を設置
- 19(2007)年 4月 鹿児島赤十字病院 言語聴覚療法を開始
- 19(2007)年 11月 鹿児島赤十字病院 放射線撮影室増築工事、中央病棟増築工事完成  
一般撮影装置増設、DEXA装置更新
- 19(2007)年 11月 血液センター 九州ブロックにおける検査・製剤集約施設として「日本赤十字社九州血液センター」竣工
- 20(2008)年 1月 血液センター 検査業務を九州血液センターに集約
- 20(2008)年 3月 鹿児島赤十字病院 一般病棟入院基本料「7対1入院基本料」承認
- 20(2008)年 3月 血液センター 医薬品製造業を廃止し、製剤業務を九州血液センター  
に集約(製剤業務の集約4/1付)
- 20(2008)年 4月 血液センター かもいけの血液センターを改修に併せ「献血プラザか  
もいけクロス」と名称変更し、リニューアルオープン  
特別養護老人ホーム錦江園 介護老人福祉施設および居宅サービス  
(短期入所生活介護)事業所指定更新
- 20(2008)年 6月 鹿児島赤十字病院 病院機能評価認定病院(審査体制区分2:ver.5)  
認定
- 21(2009)年 3月 血液センター 生化学検査サービス項目のAST(GOT)検査に変え、  
GA(グリコアルブミン:糖尿病関連)検査導入
- 21(2009)年 3月 鹿児島赤十字病院 国道拡幅工事に伴う改修工事(リハビリ棟・重油  
タンク)
- 21(2009)年 4月 鹿児島赤十字病院 鹿児島県から災害派遣医療チーム(DMAT)指定病院  
として指定  
血液センター 献血プラザかもいけクロス採血室の漏電による火災のため  
一時閉所
- 21(2009)年 7月 血液センター 献血プラザかもいけクロスリニューアルオープン
- 21(2009)年 10月 鹿児島赤十字病院 消防・防災ヘリコプター医師搭乗システム協力病院
- 22(2010)年 3月 鹿児島赤十字病院 鹿児島県から看護学生研修実習生控室(建物)の無償譲渡  
鹿児島赤十字病院 錫山・火の河原出張診療所廃止
- 22(2010)年 7月 鹿児島赤十字病院 DPC対象病院として稼働開始
- 22(2010)年 11月 血液センター 「ホリスティックヘルスプラザかごしま」オープン
- 22(2010)年 12月 鹿児島赤十字病院 電子カルテ・オーダーリングシステムの導入・稼働開始
- 23(2011)年 3月 東日本大震災(発災から同年8月までの間)、救護班5個班のほか、こころのケア  
要員、病院・施設支援要員、ボランティア等を派遣
- 23(2011)年 8月 血液センター 鹿屋地区血液備蓄所(鹿屋富田薬品)及び曾於地区血液備蓄所  
(曾於郡医師会立病院)閉鎖
- 23(2011)年 9月 血液センター 鹿屋出張所開設
- 23(2011)年 11月 血液センター 川内地区血液備蓄所(アステム川内支店)閉鎖

23(2011)年12月	血液センター 川内出張所開設
24(2012)年3月	鹿児島赤十字病院 平成16年4月より休棟中の結核病床廃止(一般病床120床となる)
24(2012)年4月	血液事業の広域運営体制開始 広域事業運営体制による血液センター組織改正
24(2012)年8月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念絵画・作文コンクール実施
24(2012)年12月	日本赤十字社鹿児島県支部120周年記念改築工事(災害対策本部機能等改修工事)
25(2013)年1月	「～献血ありがとう～いのちをつなぐ友の会」発足
〃	立体駐車場(3階4層:公用車含142台収容)完成
26(2014)年1月	鹿児島城山ライオンズクラブから献血運搬車の寄贈を受ける
〃	特別養護老人ホーム錦江園改築工事竣工(鉄筋コンクリート5階建て全ユニット型)
26(2014)年2月	宮崎県串間市への血液供給を開始(県境を越えた供給)
26(2014)年3月	鹿児島赤十字病院新棟竣工
26(2014)年5月	血液事業情報システム供給部門導入
〃	血液事業情報システム本稼働
26(2014)年6月	鹿児島・串木野・奄美の各海上保安部と「海上災害等における相互協力に関する協定」を50年振りに再締結
26(2014)年11月	鹿児島赤十字病院本館改修工事竣工
27(2015)年1月	鹿児島赤十字病院増改築工事落成祝賀会並びに設立90周年記念祝賀会挙行
27(2015)年2月	鹿児島県赤十字血液センター創立50周年記念式典挙行
27(2015)年3月	一般社団法人日本血液製剤機構(JBPO)と日本赤十字社間の血漿分画製剤の販売提携終了
27(2015)年5月	屋久島町口永良部島新岳噴火災害へ救護班1個班、こころのケア要員等を派遣
27(2015)年8月	鹿児島赤十字病院永井慎昌医師「第67回保健文化賞」受賞
27(2015)年8月	米盛庄司代議員より、支部事務局へ机、イス寄贈
27(2015)年12月	医療機関での赤血球製剤抗原検索システム開始
28(2016)年2月	「献血ルーム天文館」開設30周年記念キャンペーン開催
28(2016)年4月	血液事業本部 生化学検査のALT基準値変更と抗原陰性血の確認検査廃止
〃	熊本地震災害へ(発災から同年6月までの間)、医療救護班4個班及び災害対策本部支援要員等を派遣
28(2016)年7月	鹿児島県赤十字血液センターの固定施設の定休日を変更 (献血プラザかもいけクロス:木曜定休、献血ルーム天文館:金曜定休)
28(2016)年9月	血液事業本部 照射洗浄血小板-LR「日赤」販売開始
29(2017)年3月	鹿児島城西ロータリークラブ及び鹿児島サザンウインドロータリークラブから血液センターへ献血運搬車の寄贈
〃	鹿児島県赤十字血液センターの加世田地区血液備蓄所(富田薬品南薩営業所)、大口地区血液備蓄所(山口長生堂薬局)及び出水地区血液備蓄所(出水総合医療センター)閉鎖
29(2017)年4月	特別養護老人ホーム錦江園10床増床(定員80名に変更)
29(2017)年7月	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念改築工事(救援物資保管倉庫改修)
29(2017)年9月	日本赤十字社創立140周年・日本赤十字社鹿児島県支部創立125周年記念表彰式及び講演会を開催
〃	日本赤十字社鹿児島県支部125周年記念赤十字ふれ愛親子防災教室を開催
〃	国分地区血液備蓄所(アトル国分支店)閉鎖
29(2017)年12月	指宿地区血液備蓄所(国立病院機構指宿医療センター)閉鎖

30(2018)年3月	阿久根地区血液備蓄所(出水郡医師会立阿久根市民病院)、大島地区血液備蓄所(九州東邦大島営業所)閉鎖
31(2019)年3月	種子島地区血液備蓄所(種子島医療センター)閉鎖
31(2019)年4月	鹿児島城山ライオンズクラブ及び鹿児島明倫ライオンズクラブから血液センターへ献血運搬車の寄贈
令和元(2019)年8月	令和元年8月豪雨災害により佐賀県へ救護班1個班を派遣
2(2020)年7月	鹿児島赤十字病院 県 の要請を受け新型コロナウイルス感染者の入院受入を開始
〃	令和2年7月豪雨災害により熊本県へ支部職員1名派遣
2(2020)年8月	新型コロナウイルス感染症対応として鹿児島県広域医療調整本部及び宿泊療養施設等へ職員を派遣
3(2021)年3月	沖電気工業株式会社から血液センターへ献血運搬車の寄贈
3(2021)年10月	鹿児島県医師会、鹿児島県歯科医師会、鹿児島県薬剤師会、鹿児島県看護協会から血液センターへ献血推進車の寄贈
〃	鹿児島南洲ライオンズクラブ、鹿児島ライオンズクラブから血液センターへ献血輸送車の寄贈
3(2021)年12月	十島村役場からの支援要請に基づき、震度5強の地震を観測した悪石島に鹿児島赤十字病院の看護師と支部事務局の職員の計2名を約1週間派遣
4(2022)年7月	桜島の噴火警戒レベルが5に引き上げられたことに伴い、支部災害対策本部要員が県赤十字会館に参集するとともに、県庁に連絡調整員を1名派遣
4(2022)年9月	アプリ版献血カード及び事前WEB問診回答の運用開始
〃	日本赤十字社鹿児島県支部創立130周年事業 ～災害の記憶展～ を実施
5(2023)年1月	青少年赤十字創設100周年・県支部創立130周年記念作文・絵画コンクールを実施
5(2023)年3月	3月13日採血分(3月15日製造分)から赤血球製剤の有効期限が21日から28日に延長

## 赤十字標語一覧

- 1973年(昭48) あなたとあなたの世界に赤十字
- 1974年(昭49) いのちを守る赤十字！(救急法, 水上安全法, 家庭看護法の普及)
- 1975年(昭50) 赤十字: 危急のときのいのち綱
- 1976年(昭51) 行動する赤十字
- 1977年(昭52) 人の和を世界に広げる赤十字
- 1978年(昭53) 参加しよう赤十字
- 1979年(昭54) 愛に手で世界を結ぶ赤十字
- 1980年(昭55) 赤十字: みんなのためにどこにでも
- 1981年(昭56) あなたとともに赤十字
- 1982年(昭57) あなたの身近に赤十字
- 1983年(昭58) とっさの手当がいのちを守る！覚えよう救急法
- 1984年(昭59) 人道を通じて平和へ
- 1985年(昭60) あなたの若さを一赤十字
- 1986年(昭61) いのちを救う愛の献血一赤十字
- 1987年(昭62) 幼い生命に愛の手を一赤十字
- 1988年(昭63) 伝統を明日への力に一赤十字
- 1989年(平元) 愛の手を世界に広げる赤十字
- 1990年(平2) 守ろう！人のいのちと尊さを
- 1991年(平3) 救おう！災禍にあえぐ人々を
- 1992年(平4) 災害に備えて守る尊い生命一赤十字
- 1993年(平5) すべての人々に人間の尊厳を  
}
- 2000年(平12) 全ての人々に人間の尊厳を
- 2001年(平13) 人道は限りない力  
}
- 2004年(平16) 守ろう人間の尊さを  
}
- 2008年(平20) 人間を救うのは、人間だ。Together for humanity  
}
- 2012年(平24) 人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.  
}

